

2017年度 事業報告書

2017（平成29）年4月1日

～

2018（平成30）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358

札幌市視聴覚障がい者情報センター内

TEL : 011-642-8010 ・ FAX : 011-642-8377

メール : houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【2017年度事業実施報告】

はじめに

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を行なった。

- (1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
- (2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
- (3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
- (4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
- (5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
- (6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
- (7) 手話通訳者養成事業
- (8) 手話通訳者派遣事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
- (11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく移動支援事業
- (12) 介護保険法に基づく居宅介護サービス事業及び介護予防サービス事業
- (13) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業
- (14) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業
- (15) サービス付き高齢者向け住宅事業
- (16) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
- (17) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

公益目的事業などの特徴的なこと

1. 実施している公益目的事業は、全体として計画通り行なわれました。
2. 公益目的事業を実施する上での課題は、前年度に引き続き人材の確保、事業で求められている力量の育成、待遇面の改善でした。
3. 当協会創立70周年記念事業を開催しました。特筆すべきことは、創立当時からの会員が一人おられ、70周年をともに祝うことができたことです。
4. 続いて、第58回全道ろうあ者大会を開催し全道の仲間を迎えることができました。

5. サービス付き高齢者向け住宅に関しては聴覚障害者向けでは全国初ということもあり、マスコミの関心も高く取材が相次ぎました。
6. 今後の課題として、児童分野の事業（デイサービスなど）の開始に向けて検討が始まりました。

運動面の特徴的なこと

1. 一般財団法人全日本ろうあ連盟の運動

- ①全国手話言語市区長会や手話を広める知事の会は、2020年・東京オリンピック、パラリンピックまでに手話言語法制定をめざすことを決議した。
 - ②知的障がい者の強制不妊手術の記事が全国的に取り上げられたのを機に、聴覚障がい者の分野でも強制不妊手術、断種手術、中絶手術における実態調査が始まった。
 - ③2017年参議院事務局企画調査室編集・発行の「日本語と日本手話 相克の歴史と共生に向けて」に対する連盟の反論レポートがホームページに（日本聴力障害新聞4月号にも）掲載されている。
- (ア)ポイントは、日本で使われている手話は一つであること、
(イ)日本語対应手話、日本手話と分ける必要はないこと
(ウ)聞こえる人は手話を覚え、聞こえない人も日本語を使いこなす力をつけていきお互いに共生できるようにしていくことが大事であることが挙げられている。

2. 札幌市の(仮称)手話・情報コミュニケーション促進条例検討委員会は、2018年3月23日に役割を終えて解散した。

- ①障がい者コミュニケーション条例は、2017年12月1日に施行され、手話言語条例は、2018年3月6日に施行された。
- ②今後は、年に1回程度の条例の進捗状況について意見交換をする会議が開催される予定なのでそこで意見を述べていくこととなります。
- ③全道的には、札幌市も含めて条例ができたことで予算が多少増えた、自治体首長の会見を手話動画で行う、手話普及のための取り組みが始められようとしています。
- ④条例制定の背景には、人権の普遍性をうたった世界人権宣言、そして障害者権利条約（言語とコミュニケーション手段）がよりどころになりました。次世代の指針にしていくことが大事な課題です。

【公益目的事業】

【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業

I 手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者と聞こえる人の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

1. 手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろうあ者等と聞こえる人との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期 間：2017年4月～2018年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告 4,837件+2,679件 = 総件数 7,516件

年度	2016年度 4,961件					2017年度 4,971件						
	区分	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し
計			専通	登通	計			専通	登通			
医療・保健	3,316	3,113	1,049	2,064	3985:41	3,373	3,038	1,206	1,832	3926:09	404	50
(内、介護保険)	471	447	188	259	483:19	366	370	217	153	420:05	28	6
司法	87	102	86	16	146:35	117	101	95	6	118:05	20	3
教育・保育	193	197	62	135	309:10	250	159	56	103	225:00	113	2
労働・雇用	217	197	71	126	273:22	156	152	65	87	175:00	26	7
地域・住宅	57	58	22	36	67:45	58	57	29	28	59:35	4	3
人間関係	45	31	12	19	69:40	31	33	13	20	75:45	4	2
文化・教養	147	194	49	145	493:10	158	195	42	153	464:10	53	27
社会生活	468	492	246	246	768:20	370	414	223	191	648:42	41	18
その他	463	577	564	13	364:35	566	688	677	11	408:40	3	0
(来所者)	486	486	486			575	575	575				
(電話通訳)	460	460	460			529	529	529				
(TV電話)	73	73	73			104	104	104				
(FAX対応他)	289	289	289			227	227	227				
合 計	4,993	4,961	2,161	2,800	6478:18	5,079	4,837	2,406	2,431	6101:06	668	112

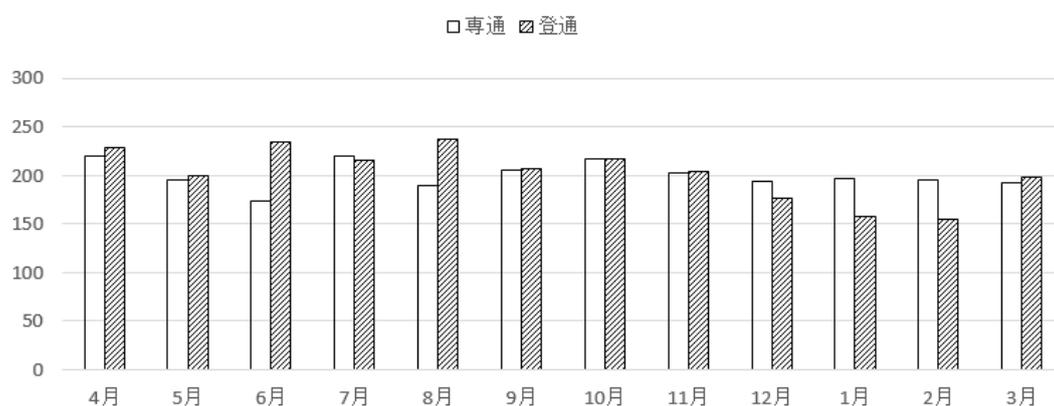
※介護保険の内容：認定調査、ケアマネ訪問、訪問看護、入所者の定期コミュニケーション等。

※「その他」は来所対応が15分を超えた時には依頼件数に含めている。それ以外は下記の通り。

※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合計
2016年度	823	205	596	825	2449
2017年度	975	241	601	862	2679

(2) 毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者&登録手話通訳者）



(3) 手話通訳者状況報告（2018年3月31日現在）

専従手話通訳者 9名 登録手話通訳者 53名

※資格取得状況（専通・登通含む）

手話通訳士 36名 統一試験（手話通訳者）25名

無資格 1名 →専通採用時に資格取得条件付で確認済。

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 広域派遣については、札幌市は『札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例』（2017年12月1日）の施行に伴い、道外に於ける通訳派遣費用について予算措置が可能となった。要綱改正済。尚、道内については、従来通りの行政及び北海道ろうあ連盟（委託）事業の協力により対応している。
- (2) 電話リレーサービス実施の支援施策は、現在、札幌に於いても利用者（ろう）より、通訳申請や問い合わせ等が増えている。FAXとは違い、手話や文字による連絡手段は即効性があり有効なシステムであり、今後利用増が推測できる。通信としての内容によっては支援的な側面もあることを十分留意した対応が必要である。
- (3) 来所対応（電話通訳）では、インターネット等の複雑且つ長時間を要する時と、「本人確認できない」「通訳者は第三者である」等の理由で、ろう者の用件が聞き入れてもらえないことが課題である。通訳内容をろう者に理解してもらおう中で、相手先（企業）に対して、障害者差別解消法や合理的配慮について説明をしたり、時には抗議をすることもある。

個々の問題ではなく社会問題として捉え、対応することが必要であり職員の対人援助技術と知識・判断が求められる。

- (4) 通訳派遣のコーディネート業務は、内容と対象者（ろう者・聞こえる人）を把握し関係機関との連携が重要である。単なる連絡調整に留まらず、地域ケア担当者会議や専門職と情報を共有しながら派遣通訳者を判断していく。緊急対応（重篤患者等）の体制は確立しておらず課題もあるが、現状では環境改善を求め、相談しながら対応している。
- (5) 高齢ろう者や重複障害者の暮らしは、厳しく安心して暮らしていると言えない。手話の広がりはあるが、障害特性の理解に繋がっていない。“ほほえみの郷”の開所により、派遣依頼にも影響があり変化もある。安心して暮らすことができる場の存在は重要である。

2. 手話通訳者認定・登録・更新の実施

(1) 二次試験(面接試験)

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施した。

期 日：2017年4月1日(土)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2016年度一次試験（手話通訳者全国统一試験）合格者及び手話通訳者全国统一試験又は手話通訳士試験の合格者

<登録申込状況>

(単位：人)

区 分	2016年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	0	1	1
手話通訳士	0	0	
合 計	0	1	1

(2) 一次試験（手話通訳者全国统一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題、採点基準及び具体的実施方法などについて(社福)全国手話研修センターから提供を受け、全国统一試験を実施した。

期 日：2017年12月2日(土)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2015年度以前の手話通訳者養成課程修了者、2016年度手話通訳養成講座受講生、2017年度手話通訳者養成講座受講生（再受講生）または、手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2018年3月9日(金)

<受験者及び合格者状況>

(単位：人)

区分	2016年度			2017年度			
	申込数	受験者数	合格者数	申込数	受験者数	合格者数	合格率
2017年度養成講座受講生	6	6	0	4	4	2	50.0%
2016年度養成講座受講者	11	11	0	16	16	2	12.5%
2015年度以前 養成講座修了者	9	8	0	13	12	2	16.7%
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0%

合 計	26	25	0	33	32	6	18.8%
-----	----	----	---	----	----	---	-------

(3) 登録手話通訳者状況 (2018年3月31日現在) (単位：人)

項 目	年 度		
	2015	2016	2017
登録手話通訳者数	49	51	53
常勤・非常勤の仕事あり	35	30	37
通訳者自身の病気療養（育児・家族の介護）あり	12	21	13
平日の日中活動可能	11	13	13

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 登通53名中、24名(45%)が稼働不可（3月現在）であり、2016年度の2倍である。その内、半数は年間稼働休止状態であった。理由としては、仕事の為稼働不可が多く、改善には至らなかった。年度の後半に、体調不良の為休止（昼間型）する方も増え、年度末までの休止となった。
- (2) 昼間は医療分野への通訳申請が圧倒的に多かったが、稼働者が少なく、新登通（2名）も有職者であり、昼間の稼働には難しかった。医療は専門用語も多く現場の判断も求められることから、患者（ろう者）の協力をお願いして、通訳現場に同行する等学習の機会を設けるように努めた。

3. 札幌市・札幌協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2017年4月～2018年3月(月1～2回・全16回)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター
市社会福祉総合センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者

講 師：基本的には専通が担当するが、ロールプレイ（7月・11月）、事例研修（9月）、翻訳・模擬通訳（1月）は、札幌市ろう相、札幌協理事等に講師を依頼し実施した。

(内、◆合同(市・札幌協)の研修、◇札幌協のみの研修)

研 修 内 容	月 日	出席者数
1) 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業に関する説明会 ◆	2017年4月3日	56名
2) 手話通訳に必要な現場対応力を考える ◆	4月25日	32名
3) 事例研修① …登通の通訳現場の再現学習 ◆	6月23日・26日	43名
4) ロールプレイ① …6月事例研修を受けて学習 ◆	7月31日昼・夜	35名
5) 登録手話通訳者懇談会 …札幌市&札幌協同席	8月25日	28名
6) 模擬通訳 …統一試験の過去問題（場面通訳）◇	8月29日	14名
7) 事例研修② …養成講座 通訳Ⅲテキスト（事例検討） 登通の通訳現場の再現学習 ◆	9月22日・25日	39名
8) 健康学習会 …特殊健康診断結果を受けての学習 講師：若葉金三氏（勤医協札幌病院 医師）	10月27日	12名

9) 司法研修「聴覚障害者の刑事弁護を経験して」 ～弁護士相談を受けるときの相談者(ろう者)の留意点～ 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺修氏 ◇	11月3日	40名
10) 司法研修「ケース研究」、「実技研修」法律相談 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺修氏 ◇	11月4日	21名
11) ロールプレイ② …専通の通訳現場の再現学習 ◆	11月24日・27日	25名
12) 翻訳・表現技術 …「読み取り通訳」、「場面通訳」 ◆	2018年 1月19日・22日	27名
13) 出張報告 …専通報告、看護学生卒業研究報告 ◆	2月23日	15名
14) 講演「ろう者の言語権を考える」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏 ◇	3月3日	44名
15) 「通訳技術・統一試験に挑戦しよう！」 ◆	3月26日	27名

2017年度 コミュニケーション支援課 出張一覧

研修内容	人数	月 日
1) コミュニケーション支援担当者研修会 (京都府)	1名	7月19日～21日
2) 2017年度手話通訳者全国統一試験説明会 (京都府)	1名	7月22日
3) 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2017 聴覚障害者のメンタルヘルスと支援 カウンセリングとソーシャルワークの連携のために (東京都)	2名	7月29日～30日
4) 第50回全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラムinひろしま～ (広島県)	1名	8月18日～20日
5) 第43回全道ろうあ者相談員第40回全道専任手話通訳者研修会 レポート提出「ケースの援助における関係機関との連携と役割 ～福祉支援から医療支援～」 レポート提出「勤医協札幌病院スタッフへの啓蒙資料～聴覚障害者 と手話通訳者について理解を深めてもらうために ～」 (札幌市)	6名	10月19日～20日
6) 2017年度手話通訳者現任研修会 全国手話研修センター主催 (札幌市)	2名	1月20日～21日

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

出席状況は全体の27%。出欠連絡が滞りがちの登通が固定化しており、年間通して現任研修会に参加のない登通もいるため、手話通訳活動と研修会は一対であることを再度周知していきたい。研修内容は、通訳現場に於ける対応力を相互に研鑽し合えるように工夫をしたり、日々の派遣事業の実態を生かした事例討議やロールプレイを重視している。他には、通訳現場での困ったこと等を率直に話し合う場として会議（年3回）を設けている。

2月は『出張報告』として、全国の様々な情報や専門的な内容を通訳者間で共有し学習を深めるようにしている。今年度は札幌聴協が札幌医科大学の看護学生の卒業研究に協力したことにより、相互学習を行うことができた。レポートは、日常業務の整理として作成するように努めている。

4. 札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

認定証授与式終了後オリエンテーションの中で「札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱」の確認、派遣の流れ、報告書の書き方、そして、派遣より

も先に開始する研修について説明を行なった。手話通訳者に対し、医療や教育等の専門分野で求められている知識と技術について研鑽する機会を設けることにより、あらゆる場面での確かな手話通訳ができるよう資質の向上を図る研修を開催した。

期 間：2017年4月～5月(新登録研修3回)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2017年札幌市登録手話通訳者に認定された者

(1) 新登録手話通訳者状況

区 分	2016年 一次試験合格者	市外より転入	在札有資格者	合計
新登録者数	0名	1名	1名	2名

(2) 研修会等の内容及び日程

研修内容	月日
認定証授与式・事業説明会 札幌市手話通訳者派遣事業及び、関連する事務手続き等の説明。	4月19日
研修会1) 「報告書の書き方...通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月24日
研修会2) 「模擬通訳」...対象者にわかる通訳保障のあり方を学習し、実際に通訳をして理解を深めた。	5月11日
研修会3) 「経験交流」...通訳時の悩みを話し合い、高齢ろう者の配慮や先輩通訳者の経験を学ぶ。ろう講師の協力を得て励ましを受ける貴重な時間となった。	5月26日

5. 札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期 間：2017年7月～9月

場 所：勤医協札幌病院

対象者：登録手話通訳者(1回)・専従手話通訳者(年2回・2018年2月結果は含まず)

(1) 受診状況

健診対象者	60人	受診者数	50人	受診しない数	10人
-------	-----	------	-----	--------	-----

(2) 診断結果

A (異常なし)	7人	C 1 (要受診)	3人
B 1 (要観察)	33人	C 2 (要受診・業務対策)	0人
B 2 (要注意)	7人		

【手話通訳者養成等運営会議(派遣)】

- (1) 検診の結果、登通は“改善”“維持”が多く、“悪化”は減少している。通訳派遣件数が多かったり、通訳以外に活動をしている登通でも安定した結果であった。ただ、協会職員(登通)に悪化があり健康管理には留意する必要がある。
- (2) 検診後の健康学習会に於いて、担当医師より「法整備が進んだことに加えて、手話通訳の要求が従来に増して幅広い分野にまで拡大されている。その結果“手話通訳労働”の制度化、普及、量的・質的進化に対する負

荷の増大が考えられるため、手話通訳者のメンタルヘルス対策を組織的に講じていくことが求められる」と報告があった。学習会への出席者は少数であり、健康への関心が薄れていかなないように努める必要がある。

6. 医療手話通訳者派遣事業の実施（勤医協札幌病院委託事業）

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ常勤派遣し、内科、外科、整形外科、眼科等総合病院で外来診察及び入院治療等を受けているろうあ患者と医師及び看護師とのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期間：2017年4月～2018年3月（年間）

業務時間：月・火・水・木・金 9時～15時

第1・3土曜日 9時～12時30分

場所：勤医協札幌病院

手話通訳者：専任手話通訳者3名・代替手話通訳者6名

（1）実績及び状況報告

①来院者数及び住居区数（月別）

（単位：名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	97	93	97	92	95	88	101	96	110	94	80	96	1139
白石区	22	19	31	24	25	10	20	10	19	23	16	15	234
厚別区	15	16	8	15	8	14	16	24	8	19	15	14	172
東区	25	26	28	26	26	33	20	22	30	16	22	27	301
豊平区	11	14	12	8	16	9	17	17	16	10	9	12	151
北区	10	6	5	7	6	10	12	8	14	7	7	14	106
西区	0	5	5	3	4	4	4	5	7	4	2	4	47
南区	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
中央区	4	1	3	3	6	3	5	5	5	3	2	3	43
手稲区	6	4	2	2	1	2	2	3	6	6	3	5	42
清田区	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4
札幌市外	3	2	3	4	2	3	5	1	5	5	3	2	36

②患者及び新患者の状況

患者数	97	93	97	92	95	88	101	96	110	94	80	96	1139
内、新患者数	1	0	0	0	1	1	1	4	0	0	2	1	11

③来院者数状況（年間）

（単位：名）

区分	2016年度			2017年度		
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)
通訳件数	787	764	23	776	765	11

④年代及び性別の状況

（単位：名）

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	非該当	合計
男性	4	5	4	57	21	199	133	70	0	493
女性	0	24	21	69	83	282	156	18	0	653

									6	6
合計	4	29	25	126	104	481	289	88	6	1152

⑤来院者の受診科他別状況（年間）（単位：件）

受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	合 計
内 科	497	眼 科	223	手 術	2	
整形外科	224	外 科	50	検 査	103	
耳鼻科	114	神経科	38	その他	128	
産婦人科	40	労衛科	10	(内、電話通訳)	75	
小児科	19	健 診	123	(内、受付等通訳)	16	
						1571

⑥入院患者数及び受診科別状況（年間）（単位：件）

区分	入院患者数	通訳件数				合計
		手術	病棟	病棟外診察	その他	
件数	13	4	17	8	1	30

通訳件数は、昨年に比べて減少したが、患者の高齢化、又、重複障害者もいるので、手話通訳に加えて多様な支援が必要となり一人一人の対応に時間がかかった。予約患者数の多い時や専任手話通訳者が休みの時は、代替手話通訳者を依頼して（2017年度は90件）協力してもらうことによって通訳者体制を整えた。

7. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施（独自事業）

札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

期 間：2017年4月～2018年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

(1) 派遣事業の実績及び近況報告

年度 区分	2016年度					2017年度						
	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し	確保 不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企 業	62	75	33	42	107:10	105	105	47	58	118:20	6	0
司 法	47	64	58	6	147:15	29	46	46	0	62:40	0	0
内 弁護士	15	13	13	0	23:35	9	9	9	0	9:20	0	0
内 警察署	10	18	14	4	67:30	8	11	11	0	15:00	0	0
内 検察庁	13	16	14	2	24:45	0	0	0	0	0:00	0	0
内 裁判所	9	17	17	0	31:25	12	26	26	0	38:20	0	0
内 刑務所	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
各種集会関係	97	193	27	166	521:00	103	214	55	159	610:05	7	0
内 社会生活教室	28	54	2	52	127:55	26	52	10	42	116:25	0	0

大 学	7	14	2	12	35:40	5	11	5	6	41:40	1	0
組 合	19	46	4	42	135:50	21	36	5	31	94:45	2	0
政 党	13	21	9	12	29:50	12	18	6	12	26:40	1	0
放 送 局	12	17	16	1	27:40	25	32	32	0	63:45	3	0
そ の 他	15	26	20	6	48:10	33	51	32	19	62:05	1	0
合 計	272	456	169	287	1,052:35	333	513	228	285	1,080:00	21	0

(2) 派遣分野の状況報告

- ①各種集会関係は、通訳申請が10～11月に集中し、2017年度は特に全国規模の大会や専門的知識を要する内容が重なり通訳者の確保に苦慮した。また、“合理的配慮”による新規の依頼もあり、派遣事業の説明や依頼内容に係る問い合わせ等に時間を要した。更に10月には、衆議院の解散総選挙に伴い、複数の政党から直近の通訳申請があり、事務処理の負担が増した。
- ②放送局関係は、2016年度と比較し倍増している。全国初の聴覚障害者対象のサービス付き高齢者向け住宅“ほほえみの郷”に関する取材が集中し、転居に係る高齢ろう夫婦の様子や施設の紹介等の内容があった。また、手話言語条例に関する取材もあった。
- ③企業関係は、2016年度より継続されている再就職支援への派遣が多かった。また、ろう者を採用し依頼が拡充した企業もあった。複数のろう者を雇用している企業側が、研修会毎に通訳保障の依頼をすることにより、業務改善に繋がっている面もある。

(3) 手話通訳者状況報告 (2018年3月31日現在) (単位：名)

	2015年度	2016年度	2017年度
専従手話通訳者	10	10	9
登録手話通訳者	99	111	99
(内、市登録手話通訳者)	(50)	(51)	(53)
(内、当該年度養成講座修了者)	(7)	(3)	(0)

8. 札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換等を行なうため研修会を開催した。

期 間：2017年4月～2018年3月（年間18回）
 会 場：市視聴覚障がい者情報センター
 対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

(札幌市派遣事業と合同の現任研修は【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業に記載)

研修内容	月日	出席者数	
		登通	専通
1) 模擬通訳 …聞き取り通訳のビデオクリニック	8月29日	10名	4名

2) 司法研修「聴覚障害者の刑事弁護を経験して」 ～弁護士相談を受けるときの相談者(ろう者)の留意点～ 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺修氏	11月3日	34名	6名
3) 司法研修「ケース研究」、「実技研修～弁護士相談～」 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺修氏	11月4日	15名	6名
4) 講演「手話は一つ？Part.6」 ～ろう者の言語権を考える～ 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏	3月3日	37名	7名

(自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない)

手話通訳者会議 (自主)	月日	出席者数	
		登通	専通
1) テーマ 医療・教育	6月13日	5名	3名
2) テーマ 労働・社会生活	10月3日	4名	3名
3) テーマ 講演会・式典	2月5日	3名	4名

(1) 手話通訳者会議

2014年度より事前に出欠連絡の義務を必要としない自主研修という形で行っている。毎回テーマを決め、出席者は通訳現場で困ったこと等の事例を持ち寄り、意見交換をする中で問題点を整理し、解決方法を確認している。また、通訳経験のない人も、通訳経験者の意見を聞くことで今後の通訳や活動に活かしてもらいたいと考える。出席者は比較的年間派遣件数が少ない通訳者が多い。

(2) 司法場面における手話通訳者研修

一日目は一般公開（夜間）で、過去最高の104名の出席者があり、札幌協手話通訳者の出席も増えた。研修内容としては、最近の裁判員裁判の危惧することについての話と、実際にろう者が弁護士相談を行う際の留意点について、事例報告があった。その後、警察署に勾留された時の初回の弁護士の接見について、聞こえる人の例をDVDで見た後、ろう者が窃盗事件の被疑者となり、弁護士の接見場面を設定し、舞台上で模擬通訳を行った。この模擬通訳については、被疑者役をろう者が担当し、内容が分かりやすかったと好評だった。

二日目は手話通訳者のみを対象とし、午前中はケース研究として、渡辺先生と札幌からの事例の報告と意見交換をした。午後は実技研修の初めに、弁護士から離婚相談にかかる基礎知識について説明をもらった。その後、弁護士、相談者（ろう者）の協力を得て、離婚の法律相談について模擬通訳を行った。模擬場面を観察していた弁護士や通訳者からも率直な意見があり、今後の通訳活動の参考になった。

二日間で延べ12名の司法関係者（弁護士会、検察庁、保護観察所他）に出席をいただき、貴重な意見やアドバイスを得られ、とても有意義な研修会となった。今後も通訳現場でかわりをもつ司法関係者に対して啓発を促し、ろう者や手話通訳について理解してもらえるような企画を考えていきたい。

(3) 『手話は一つ？Part 6』手話は言語であることにかかる研修

今年度は、札幌市で手話言語条例の制定が見込まれていることもあって、

改めて「ろう者の言語権を考える」というテーマで講演を実施した。内容としては、人間として生まれてきた限り、耳が聞こえる、聞こえないに関わらず言語を獲得する機能を持っていること、言語には「音声言語」と「手話」しかないこと、手話は言語でありろう者の「母語」である等の話があった。また、障害者差別解消法ができ、合理的配慮が位置付けられているが、言語を獲得する権利と合理的配慮の違いについてもわかりやすく話され、「言語権は生涯にわたり保障されるべきもので、合理的配慮の範囲にとどまらない」という説明があった。更に、日本手話と日本語対応手話についても「日本語対応手話」という言語は無く、日本手話の変種（バリエーション）の一つとして位置づけられ、そのため「手話は一つ」とあるという結びとなった。講演を受け、改めて言語権と日本手話についての認識を深めた。ろう者の参加者も多く、アンケート結果からも大変好評であった。

II 手話通訳者養成講座の開催

1. 2017年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及びろう者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、ろう者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

2年間カリキュラムの4年目となった2017年度通訳Ⅲでは、2017年1月末に発行された『手話通訳Ⅲ－ホップステップジャンプ』テキストを初めて活用して実施した。これにより通訳Ⅲ課程は全6回から、座学を含めた10回へ回数増となった。通訳実習では、現役の医師や専門家等を講師として依頼し、より実践に即した場面を再現するために、現任の市登録手話通訳者の協力を得て、通訳場面を観察する等を試み、充実した学習内容となった。

カリキュラム以外に例年、特別講座（2回）、突破！統一試験学習会（2回）の実施等、手話通訳者全国統一試験（一次試験）の突破を目指し、より個別の課題克服に向けた指導内容を、講師会議にて確認しながら進めている。2015年度より、再受講生（過去の養成講座修了者）については、統一試験（一次試験）に挑戦できる配慮も継続中である。

期 間：2016年度クラス2年目 2017年4月5日～11月22日（35回）

2017年度クラス1年目 2017年5月18日～18年3月28日（47回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

（1）定員・受講者及び修了者の状況

（単位：名）

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2015年度	15	16	15	11	73%
2016年度	15	26	22	13	59.1%
2017年度	15	23	16	継続中	継続中

実技 73回（内、通訳Ⅰ課程32回、通訳Ⅱ課程31回、通訳Ⅲ課程10回）

（2）2016年度クラス（2016～2017年度・2年目）

①通訳Ⅱ課程

月 日	内 容
4月5日～4月26日	第10～13講座 聞き取り通訳
5月10日～8月2日・8月9日	第14～27講座 場面通訳・事例検討
8月23日～9月6日	第28～30講座 ロールプレイ

②通訳Ⅲ課程

月 日	内 容
9月13日	第1講座 通訳のやり方・あり方を考えよう
9月20日～27日・10月4日	第2～4講座 事例検討とロールプレイ
10月4日～11月15日	第5～10講座 手話通訳実習1～6

講師：7名（札幌協講師3名 専通講師4名）

※2017年度より通訳Ⅲテキストを活用し、回数増となっている。

③理論講義 3回

月 日	講義内容	講 師
4月28日	聴覚障害児の言語発達	氏家 正章 氏 (北海道札幌聾学校教諭)
8月4日	手話通訳者登録制度の概要	福島 太郎 氏 (札幌聴覚障害者協会理事)
9月29日	手話通訳者の健康管理	若葉 金三 氏 (勤医協札幌病院医師)

※2015年度から理論講義はより受講生に配慮し、札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者への公開はせず、講義内容を収録したDVDの貸し出しを行っている。

④修了時アンケートの結果

アンケートからは、通訳Ⅲが通訳実践の内容であることから、日頃の練習やろう者の交流不足を感じたこと、通訳経験をすることで自分自身の課題が理解できたという意見があった。通訳Ⅱの途中から、グループ間での切磋琢磨を目的として座席を固定化したことにより、受講生からは話しやすくなって良かったという反面、視線や仲間関係の構築の面から席替えを希望する意見があった。ゲスト（ろう者）を招いての通訳実習は好評であった。

(3) 2017年度クラス (2016～2017年度・1年目)

①通訳Ⅰ課程

月 日	内 容
5月18日～6月28日	第1～7講座 基本文法の復習
7月12日	第8講座 手話通訳の現場から学ぼう
7月19日～8月9日	第9～12講座 身近な場面通訳
8月23日～9月13日	第13～16講座 要約
9月20日～10月18日	第17～21講座 読み取り通訳
10月25日・11月1日	第22・23講座 手話を見て要約

11月8～10日・11月22～12月6日	第24～28講座 聞き取り通訳
12月13日～2018年1月17日	第29～32講座 場面通訳

②通訳Ⅱ課程

1月24～31日	第1～2講座 話しを聞いて要約
2月7～21日	第3～5講座 手話を見て要約
2月28日～3月23日	第6～9講座 読み取り通訳
3月28日	第10講座 聞き取り通訳

講師：11名（札幌協講師7名 札幌通研講師1名 専通講師3名）

③理論講義 5回

月 日	講義内容	講 師
7月5日	身体障害者福祉概論	松下 由紀夫 氏 (市障がい福祉課在宅福祉係長)
9月15日	手話通訳の心構え	山田 幸雄 専通
11月15日	ソーシャルワーク概論	田村 里子 氏 (WITH医療福祉実践研究所)
12月8日	手話通訳の理念と仕事Ⅰ	渡辺 聡子 登通
2018年3月2日	ことばの仕組み	加藤 三保子 氏 (豊橋技術科学大学教授)

④通訳Ⅰ課程アンケート結果

アンケートからは、他の受講生の表現を見てアドバイスし合う等、良い刺激を受けながら技術を磨いている、講座の進め方はわかりやすいという意見が多く、適切な語彙の選択や翻訳を意識したり、周りから表現が良くなったと言われることで、自身の通訳に対する変化を実感している等の意見もあった。シャドーイングの教材の意味を掴めていない受講生もおり、講座で活用する教材については、講座内でも確認しながら進める必要がある。ろう者との交流や、講座外での時間の工夫が課題となっている。

2. 手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 2016年度クラス (2016～2017年度・2年目)

①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅱ課程	5月23日	—	9月28日
通訳Ⅲ課程	5月2日・8月28日	11月28日	

(2) 2017年度クラス (2017～2018年度・1年目)

①4月6日 (木) 事業説明会・選抜試験打ち合わせ会

②4月13日 (木) 受講者選考試験・面接試験 (一日目・夜間)

4月14日 (金) 受講者選考試験・面接試験 (二日目・昼間)

③7月14日（金） 講師研修会「指導のポイント（読み取り要約のコツ）」

④10月12日（木） 講師研修会「指導のポイント（研修会報告）」

⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅰ課程	4月24日 8月24日	12月18日	2018年1月29日
通訳Ⅱ課程	12月14日	—	—

【手話通訳者養成講座講師団】

ろう講師は札幌協、聞こえる講師は札幌研が推薦する者、または専通が講座を担当し、調整して進めた。

尚、全国手話研修センター主催（北海道ブロック会場札幌）、2017年10月7～9日の手話通訳者・手話奉仕員養成担当講師リーダー養成研修会については、講師に参加を呼びかけ、通訳者課程に2名、奉仕員課程に3名の希望者があり、出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

昨年度に引き続き、受講生の技術向上を目指したシャドーイングDVDと受講生の表現を録画して配布しているが、受講生が、自宅学習用教材を十分に活用できていない状況がある。教材の準備も専通の業務内では限界があり、撮影した受講生の様子を講座内での指導に活用することで、よりきめ細かい技術指導に繋がっている。講座の時間内だけでは技術向上にも限界があり、活動や行事への参加等でろう者と交流することの大切さも、講座の中で触れていく必要があると認識を一致させた。

2018年度は、特別講座の日程や講師体制を見直し、ろう講師も加えて個別指導を強化することを会議にて確認した。2年目のクラスは、再受講による統一試験再挑戦者を考慮して21名でのスタートであり、復帰者1名が加わった。辞退者や長期欠席者も多く修了率は低下したが、2日間の連続開催とした統一試験学習会にも積極的に出席する様子が見られた。1年目のクラスでは、日本聴覚障害新聞を読み、内容を要約（意見を含む）して手話で発表し講師がアドバイスをするようにした。

3. 「2017年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために読み取り要約に絞って学習会を開催した。

期 間：2017年10月6日（金）10月7日（土）（2回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：受験者及び受験を考えている者

結 果：10月6日 33名（内、市外12名）10月7日 21名

※昨年度と大幅に内容を変更して、2日間の内、1日は札幌市民限定で実施した。アンケートからは、自分の弱点が改めて分かり的確なアドバイスをもらった、集団で学習することで手話表現や要約等が参考になったと意見があった。また、学習会の回数増の希望もあり2018年度は実施予定とした。

Ⅲ 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

1. 手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

（1）2017年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初歩的な日常会話ができることを目的とした講習を札幌市内10区会場で開催した。

期 間：2017年5月15日（月）～10月30日（月）（21回）

会 場：各区民センター（豊平区は月寒公民館・西区は市身障センター）

①定員・受講者及び修了者の状況

（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
定 員	30	35	40	40	35	30	30	30	40	30	340
申込数	52	49	39	43	24	35	20	22	39	30	353
受講者	30	35	35	40	26	28	18	21	39	29	301
修了者	26	29	26	28	21	21	14	15	26	21	227
	定員		応募者数		受講者数		修了者数		修了率		
2016年度	340		370		318		253		79.6%		
2017年度	340		353		301		227		75.4%		

②開講式 5月16日（月） 各区民センター他

③実技（18回）（毎週月曜日）

5月15, 22日	第1・2講座 表現基礎演習
5月29日・6月5, 12, 19, 26日・7月3, 10日（※6月19, 26日・7月3日のうち1回は理論（出前）講義）	第3～8講座 自己紹介
7月24日	第9講座 自己紹介～まとめ～
7月31日, 8月7, 21, 28日・9月4, 11, 25日・10月2, 16日	第10～17講座 話してみましょ
10月23日	第18講座 話してみましょ～まとめ～
10月23日	交流会・感想発表会

講師：札幌協各支部 助手：札幌連加盟手話サークル

④理論講義（出前・合同）（2回）

⑦6月19日（月）中央区・豊平区・手稲区会場

6月26日（月）北区・厚別区・南区会場

7月 3日（月）東区・白石区・清田区・西区会場

「手話の基礎知識」

中央区会場

講師 金原浩之 氏（札幌協副理事長）

北区会場

講師 河村明子 氏（札幌協理事）

東区会場

講師 高嶋正博 氏（札幌協常務理事）

白石区会場

講師 宮内博子 氏（札幌協副理事長）

厚別区・西区会場	講師	京野大樹氏（札幌協理事）
豊平区会場	講師	福島太郎氏（札幌協理事）
清田区会場	講師	若浜ひろ子氏（札幌協理事）
南区会場	講師	森 恵子氏（札幌協理事）
手稲区会場	講師	中 和彦氏（札幌協理事）

④9月4日（月） 市社会福祉総合センター 大研修室
「聴覚障害の基礎知識」 講師 若浜ひろ子氏（札幌協理事）

⑤修了式 10月30日（月） 市社会福祉総合センター 大研修室

（2）手話講習会の講師・助手に対する研修及び会議等の実施

①4月10日（月） 事業説明会 市社会福祉総合センター 大研修室

②4月10日（月） 合同講師助手研修会 市社会福祉総合センター 大研修室
「奉仕員養成課程のねらい」 講師 渋谷雄幸氏（札幌協理事長）

③4月17日（月） 講師助手研修会
「実技編」第1～18講座 講師 中和彦氏（札幌協理事）

④5月 8日（月） 各区講師助手打ち合わせ 各区民センター他

⑤7月 7日（金） 講師助手研修会 市視聴覚障がい者情報センター
「模擬講義と意見交換」 講師 中和彦氏・若浜ひろ子氏

⑥11月 6日（月） 各区講師助手反省会 各区民センター他

⑦11月20日（月） 全体講師助手反省会 市社会福祉総合センター 大研修室

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- （1）障害や疾病を抱えている方（難聴、メニエル病、知的障害、精神障害、他）からの問い合わせ、応募あり。随時、市・協会と相談し、支部にも協力を得られるか相談しながら進めている。
- （2）選挙のための部屋変更依頼を受けた中で、白石区は区民センターに代替の部屋がないとの連絡を僅か2週間前に受けたため、特別に区役所を借りて行ったが、受講生への周知の時間が足りず、当日の受講生への対応は区役所担当者と助手の協力を得て行った。機器の移動、設置についても区役所担当者の全面協力により行った。
- （3）2015～2016年度は白石区会場の講師が一人もいない状況が続き、理事3名が講師を代行したが、2017年度は白石区の講師が受け持つことができた。
- （4）2018年度より助手を廃止し、講師2名（ろう、聞こえる各1名）、補助講師2名（ろう、聴こえる各1名）の体制に変わることについて、9月以降市や関係3団体での議論を重ね、説明会の開催等で関係者への周知をはかり、理解と協力を求めながら準備を進めた。

2. 中級手話講習会（基礎）事業

- （1）2017年度札幌市中級手話講習会の開催（札幌市委託事業）

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期 間：2017年5月18日（木）～11月9日（木）（26回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①定員・受講者及び修了者の状況

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2014年	50	72	50	40	80%
2015年	50	68	50	41	82%
2016年	50	82	50	45	90%
2017年	50	62	50	42	84%

②受講者の住居区分状況

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	3	9	9	5	8	1	1	10	7	9	62
受講者	2	7	8	5	7	1	0	7	6	7	50
修了者	1	6	7	5	6	0	0	5	5	7	42

③開講式 5月18日（木）

④実技（毎週木曜日）

月 日	内 容
5月18日～9月21日	第19～34講座 基本文法
9月28日～10月5日	第35・36講座 総合練習Ⅰ
10月12日～11月2日	第37～40講座 総合練習Ⅱ

講師：9名（札幌協推薦講師6名 札幌研推薦講師3名）

⑤理論講座

㊦5月18日（木）「ボランティア活動」 講師：三神 久子 氏
(中級手話講習会担当講師)

㊧6月8日（木）「障害者福祉の基礎」 講師：西山 洋平 氏
(札幌市障がい福祉課在宅福祉職員)

㊨7月20日（木）「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」
講師：佐藤尚行氏・佐藤裕介氏・太田利実氏
(中級手話講習会担当講師)

⑥修了式・講評・反省会 11月9日（木）

(2) 中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①4月7日（金）事業説明会

②4月10日（月）合同講師助手研修会 「奉仕員養成課程のねらい」

③5月10日（水）講師研修会「指導技術」

④節会議・評価会議・反省会

内 容	日 程
-----	-----

節会議	4月14日(水)	6月7日(水)	7月19日(水)	9月6日(水)
講師反省会	11月30日(木)			

【中級手話講習会講師団】

2017年度から50名を25名ずつの2つに分け、ろう講師と聞こえる講師が1名ずつ配置する2グループ制の指導とした。講師には、育成講座受講生から新たにろう講師3名、聞こえる講師1名が加わったため、経験の豊かな講師とペアになるよう考慮した。例年、講師が作成したパワーポイントを活用しながら指導をしている。聴講生の希望なし。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

新テキスト4年目となり、講師も講座の進め方には慣れて落ち着いている。2017年度は、2会場に分かれ、講師の配置を工夫して、細かい指導を心掛けた。但し、講師より機材の準備等もあり、2名では足りないという意見があった。2018年度は難しいが、2019年度から補助講師については増える見込みである。

アンケートには、例年講師の指導について厳しい意見もあるが、講師間で分担しながら進めており、今年は指導については大変わかりやすい・講座の雰囲気が良い等の意見が増えた。会場が分かれ少数になったことで、わからないことが質問しやすくなったと好評であった。2015年度から実施してきた受講申し込み時の推薦書については、参考としている。

【情報・コミュニケーション部】

2017年度も引き続き、講師の高齢化に伴い後継者育成が必要であり、育成に取り組んだ。

ここ数年、講師育成講座の受講を広く勧めて、少しずつ若手講師を増やしている。

2018年度より各区手話講習会体制が変わり、助手制が廃止になり、ろう講師1名と聞こえる講師1名のペアで担当する形になるため、専門部会議、養成等運営委員会などでこの問題の話し合いを進めた。

(1) 手話講習会について

新しいテキストに変わってから4年経ったが、学習の進め方、指導方法は少しずつ改善してきた。今後は講師の資質などがある程度均一であることが必要。

(2) 中級講習会

2017年度に続き、受講申し込みに支部、所属手話サークルからの推薦書を添付することになった。

新しい講師3人を加え、経験ある講師たちと支えあってスムーズに進めることが出来た。

(3) 手話通訳者養成講座

講座の期間が2年間に変わってから、3年経ち、講師は指導に慣れてきた。しかし講師の都合がつかなかった時、講師確保に苦慮した。

(4) 全講座

今後、資質ある人材の確保に向けて、講師育成講座、内容の充実、改善を図り、経験豊かな人材の確保に取り組んでいく。

(5) 専門部会議について>

他の区の状況を把握し情報や意見を出しながら話し合いを行った。

年度末、各手話サークルの会員が大幅に減少した。今後高齢化で尚一層退会が増える可能性があり、減少をくい止めるため、対策が必要である。

各区支部組織部と情報コミュニケーション部で手話講習会体制について話し合った。いくつかの質疑を経たが、特に問題は出されていない。

各支部と講師団との連携を強化し、情報を共有しながら、講義内容や講師個々の課題把握に努める。

今後は講師人材の確保・育成が重要になるため、講師育成講座を活用し内容を工夫し充実させていく必要がある。

IV 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構成：札幌市障がい福祉課・札幌協・札サ連・札通研

期間：2017年4月～2018年3月（月1回開催）時間 19：00～20：45

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	区分	主な内容	人数
1	4月20日	派遣	派遣状況、広域派遣 登通状況について	8名
2	5月18日	養成	各講座の申込・選考状況、講師割り振りについて、現任研の報告	10名
3	6月15日	派遣	派遣状況 広域派遣 苦情対応について	8名
4	7月20日	養成	各講座の進捗状況、手話講師育成講座、手話通訳者現任研修会について	12名
5	9月21日	派遣	派遣状況、広域派遣、制度外派遣について	10名
6	10月19日	養成	各講座の進捗状況、育成講座、手話通訳者現任研修会、全国統一試験及び学習会について	9名
7	11月16日	派遣	派遣状況、広域派遣、登通状況について	11名
8	12月21日	養成	各講座の修了・進捗状況、現任研修会、2018年度手話講習会助手、統一試験学習会について	13名
9	2018年 1月18日	養成	2018年度各講座に向けて、養成・育成講座の進捗状況、統一試験、現任研修会について	12名
10	2月15日	派遣	派遣状況、広域派遣、関係機関との連携について	8名
11	3月15日	養成	2018年度各講座の申込状況、育成講座の進捗状況、現任研修会、統一試験学習会について	13名

【養成事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 松下由紀夫係長、西山洋平職員

札幌協：高嶋正博常務理事、宮内博子副理事長、若浜ひろ子理事、中和彦理事、渋谷梯子課長、佐藤有香主査

札サ連：菅原順子会長、三木千枝子副会長

札通研：上木明美広報部長・宮本ゆかり会計部長

【派遣事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 松下由紀夫係長、西山洋平職員

札幌協：渋谷雄幸理事長、高嶋正博常務理事、若浜ひろ子理事、渋谷梯子課長、金原さとみ係長

札幌通研：上木明美広報部長・宮本ゆかり会計部長

V 手話教室の開催

手話を一般社会に積極的に広め、聴覚障害者に対する理解の輪を大きく広げるために次の事業を行なった。

1. 手話教室事業の開催（独自事業）

(1) はじめての手話教室（昼間）

聴覚障害者に対する理解を深めるとともに手話で初歩的な日常会話ができるようになることを目的とした昼間の手話教室を開催した。

期間：①第33回はじめての手話教室

2017年4月7日（金）～9月8日（金）（20回）

受講人数：受講生13名（うち修了生11名）

講師1名 助手1名

②第34回はじめての手話教室

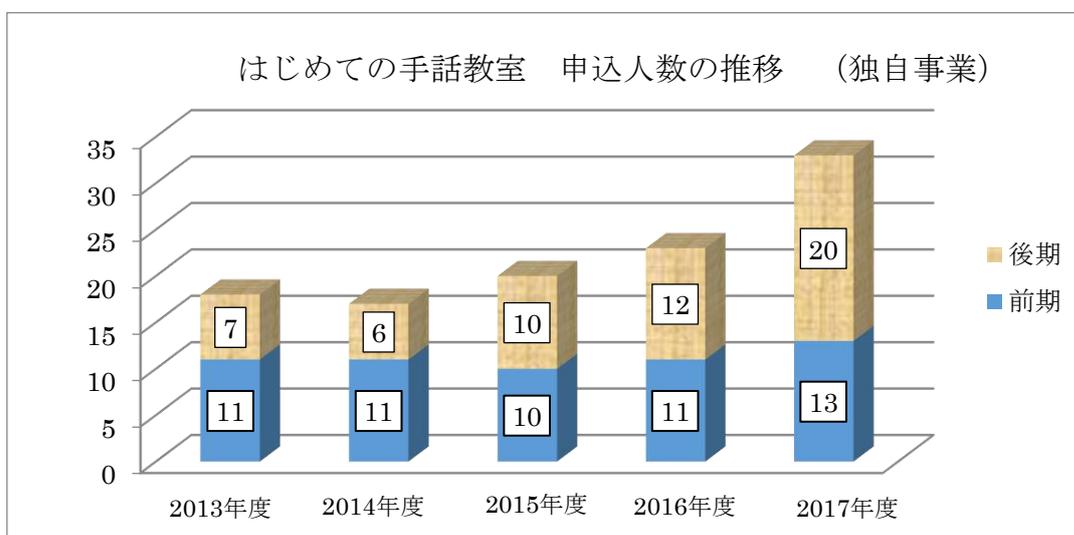
2017年9月15日（金）～2018年2月16日（金）（20回）

受講人数：受講生20名（うち修了生17名）

講師1名 助手1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話講習会の経験ない者、初心者



(2) フォローアップ手話教室（昼間）

手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」を再度学びなおし、聴覚障害者に対する理解と手話での日常会話技術を深める手話講座を開催した。

期間：①第10回フォローアップ手話教室

2017年9月15日（金）～10月13日（金）（5回）

受講生10名 講師1名 助手1名

②第11回フォローアップ手話教室

2018年2月23日（金）～3月23日（金）（5回）

受講生17名 講師1名 助手1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者

(3) 第11回中級手話教室（基礎編）（昼間）

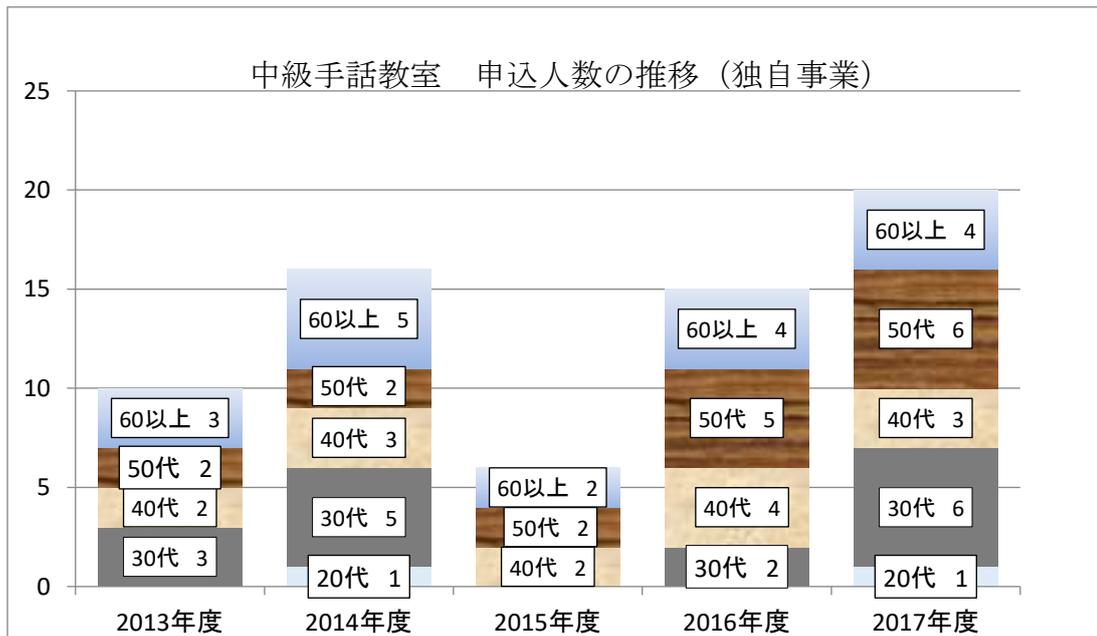
入門講座で習得した初歩的な日常会話のレベルアップと基本文法の習得を目指し、福祉制度の基礎知識や聴覚障害者の歴史について学習、全国手話検定試験の受験対策にも対応した昼間の中級手話教室を開催した。

期間：2017年5月17日（水）～12月13日（水）（30回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生20名（うち修了生17名）講師2名 補助講師1名

対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話で簡単な会話ができる者



(4) 第10回レベルアップ手話講座（昼間）

中級手話教室（基礎）修了者を受講対象とし、中級手話講座と手話通訳者養成講座の間に位置する講座として、手話の特徴（7つのポイント）を中心に学び、個々の力のレベルアップを目指す講座を開催した。

期間：2018年1月17日（水）～2月14日（水）（5回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生13名 講師2名

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「基礎課程」の修了者

(5) 2017年度はじめての手話教室（医療編～薬局で働く人対象～）（夜間）

あいさつや接客及び薬局現場で使う簡単な手話を学習する手話教室を開催した。

期間：2017年7月28日（金）～8月18日（金）（3回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生18名 講師1名 助手1名

対象：調剤薬局関係者

(6) 2017年度はじめての手話教室（医療編～病院で働く人対象～）（夜間）

病院の医師・看護師及びスタッフでのあいさつや自己紹介また医療現場で使う簡単な手話を学ぶことで聴覚障害者が少しでも生きやすい、話が通じやすい環境が広がっていくことを目的とした手話教室を開催した。

期間：2017年11月10日（金）～11月24日（金）（3回）

受講人数：受講生19名 講師1名 助手1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：病院関係者

(7) 2017年度はじめての手話教室[銀行で働く人対象~]（集中講座）

銀行員関係者に対象とし、銀行窓口等で使う接客用語の手話表現を学ぶ教室を開催予定だったが、申込数が少なく開催を中止した。

(8) 2017年度はじめての手話教室[介護で働く人対象~]（集中講座）

聴覚障害者が行きやすい、話が通じやすい環境を整えるために、介護、施設などでの日常会話、専門用語に関する手話表現を学ぶ教室を開催した。

期間：2017年7月8日（土）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生18名 講師2名 助手2名

対象：介護職関係者

【手話普及事業担当】

- ・独自講座の申込み人数は、昨年度よりやや増加。
- ・来年度は「銀行で働く人対象」の集中手話講座については、受講者確保が難しいため、新規「ホテルなどで働く人対象」の手話講座に切り替える。手話の技術よりも接するときの心構えが中心。
- ・来年度も引き続き、呼びかけ方法などの工夫をして、各講座15名以上を目指す。

VI 手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション手段としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

1. 聴覚障がい・手話啓発事業（独自事業）

期間：2017年4月～2018年3月（年間）

場所：市内各所（学校、企業等）

受付：法人事務局

(1) ボランティア研修センターからの依頼 26件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
6月2日	栄東小学校	小学5年	31名
6月15日	北洋銀行	道内各支店の職員	40名
6月16日			40名
6月27日	平岸小学校	小学5年(2クラス)	68名

6月27日		小学5年	32名
7月13日	札幌小学校	小学4年(2クラス)	71名
7月14日	ひばりが丘小学校	小学4年	38名
9月4日	定山溪小学校	小学3・4年	17名
9月13日	北都中学校	中学1年(4クラス)	108名
9月26日	青葉小学校	小学4年	41名
9月26日	本郷小学校	小学4年(2クラス)	55名
9月27日	月寒東小学校	小学4年(2クラス)	75名
10月12日	厚別北中学校	中学1年(2クラス)	79名
10月12日	北洋銀行	道内各支店の職員	40名
10月31日	手稲東小学校	小学4年(2クラス)	49名
11月1日			50名
11月8日	信濃小学校	小学4年	32名
11月9日	平岡公園小学校	小学4年	40名
11月15日	北栄中学校	中学3年	37名
11月17日	屯田北中学校	中学3年(4クラス)	278名
11月27日		中学3年(3クラス)	
12月18日	資生館小学校	小学1年(3クラス)	108名
12月21日	月寒小学校	小学5年(3クラス)	101名
2018年2月15日	清田小学校	小学4年(2クラス)	42名
2月19日	啓明中学校	中学2年(2クラス)	80名
2月21日	屯田南小学校	小学5年(2クラス)	76名

(2) ボランティア研修センター主催手話講座の講師派遣依頼 5件

年月日	講座名	対象	人数
2017年4月13日	手話体験講座①	市民	15名
5月11日～6月29日	ボランティアのため入門講座7回	市民	17名
12月12日	手話体験講座②	市民	20名
2018年1月16日～2月27日	ボランティアのため入門講座7回	市民	30名
7月26日	障がい者講師養成講座	身体障害者	13名

(3) 単独依頼 21件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
5月22日	札幌医科大学	医学部1年	110名
5月29日			
8月17日	札幌矯正研修所札幌支所	刑務官	20名
8月24日	ひばりが丘病院	病院関係	70名
9月6日	札幌ロータリークラブ	クラブ会員	70名
9月20日	里塚美しが丘地区センター	小学4年 とシニア	80名
9月27日			80名

10月12日	一志会医学研究会	医学研究会会員	31名
11月30日	手稲老人福祉センター	市民	6名
2018年1月10日	札幌市教育センター	教職員	41名
1月25日	発寒福祉のまち推進センター	福祉まち活動者	42名
2月8日	札幌放射線技師会	放射線技師	18名
2月22日	三新株式会社	CMビデオ担当	1名
3月19日	札幌矯正研修所札幌支所	刑務官	21名
3月20日	北白石地区センター	北白石まちネット	25名
3月20日	拓北あいの里地区センター	ケア施設町内会	18名
2017年10月～2月(5回)	(株)グローヴエンターテイメント	ブライダル関係者	8～12名

2. 手話養成普及事業(手話コミュニケーションができる人の養成)(独自事業)

(1) 講師派遣事業

期間：2017年4月～2018年3月（年間）

場所：市内各所

受付：法人事務局

期間・回数	学校名・企業名等	学科名等対象	人数
通年第4木曜日	耳鼻咽喉科麻生病院	院内従事者	10名
通年木曜日	札幌聖心女子学院	中学2年(2クラス)	28名
通年木曜日		中学3年(2クラス)	26名
通年木曜日		高校1年	14名
前期10回	三幸学園札幌医療秘書福祉専門学校	介護福祉科1年	22名
前期.後期32回		くすりアドバイザー科1年	34名
前期9回	一番街商店街振興組合レディス会手話サークル	一番街商店街従事者対象	21名
45分×15コマ	池見札幌歯科衛生士専門学校	歯科衛生士科3年	20名
前期11回	経専学園北海道観光専門学校	エアライン科2年	15名
後期10回		エアライン科1年	14名
前期11回		旅行科2年	14名
後期11回		旅行科1年	13名
集中講座12回		ホテル科2年	33名
前期10回		ブライダル科1年	8名
前期15回		経専学園医療事務薬業専門学校	医療事務学科2年
後期13回	医療事務学科2年		17名
前期15回	薬業学科2年		12名
後期13回	薬業学科2年		6名
前期(16回)	光塩学園女子短期大学	保育科2年(2クラス)	92名
前期(10回)	エス・ワン動物専門学校	全科2年	36名

後期(15回)	札幌心療福祉専門学校	精神保健福祉科3年	14名
前半・後半16回	札幌医科大学	看護学科・作業療法学科・理学療法学科1年	89名
後期前半×8回	経専学園	こども未来学科3年	24名
後期後半×8回	北海道保育専門学校	こども学科2年	28名
前期(15回)	さっぽろ市民カレッジ	高校生・一般	22名
後期(15回)	(ちえりあ)	高校生・一般	18名

【手話普及事業担当】

- (1) 来年度、単発講座の派遣数はさらに増える見込みである。
特に小学校は複数学級で同時に進行することが増え、講師を担う職員の負担が増えている。ろう講師、聞こえる講師・外部講師、通訳者の確保、育成が必要である。
- (2) 講師・助手研修会開催
講師・助手研修会年は年間2回開催予定だったが、日程調整が合わず中止した。

【手話普及事業担当】

講師団、通訳者ともに高齢化で講師・助手を担える人材が不足している状況で、理論講義（基礎知識等）の質の向上を図り研修会等研鑽の場を設ける必要あり。手話普及会議は業務改善も視野に入れながら、月1回行う。

3. 第12回全国手話検定試験の実施

*試験会場として実施協力（主催：社会福祉法人全国手話研修センター）

(1) 受験者のための学習セミナー開催

日時：2017年9月9日（土）
会場：市視聴覚障がい者情報センター
講師：6名（ろう者2名・聞こえる者4名）
模擬面接委員：22名（ろう者8名・聞こえる者14名）

	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	合計
受講者	28名	24名	18名	10名	4名	3名	87名

(2) 第12回全国手話検定試験（団体受験）面接委員派遣協力

日時：2017年9月27日（水）5級
会場：光塩学園女子短期大学

申込者	12名	受験者	12名	面接委員	1名
-----	-----	-----	-----	------	----

(3) 第12回全国手話検定試験の実施

日時：2017年10月14日（土）5級・4級
10月15日（日）3級・2級
10月21日（土）準1級・1級
会場：市視聴覚障がい者情報センター

	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	合計

申込者	86名	84名	82名	40名	20名	9名	321名
受験者	82名	77名	80名	40名	18名	9名	306名
面接委員	6名	6名	12名	10名	6名	2名	42名

【手話普及事業担当】

- ①『受験者のための学習セミナー』の模擬面接委員は希望者を優先して配置したが、ろう者からの希望が少なく、調整するもバランスが取れなかった。
- ②受講者に交代でタイムキープを担ってもらった結果、協力し合う中で良い雰囲気生まれたことで質問しやすい環境ができ、また時間の感覚を覚えることもできた様子が見受けられた。
- ③セミナー講師からは、指導のポイントや事前学習の場がほしいとの要望が出ているので、今後考えていきたい。
- ④『団体受験』開催校の都合で要員が配置できない旨連絡を受け、本年は面接委員と共に要員も1名派遣した。
- ⑤『当日試験』会場が市視聴覚障がい者情報センターしか確保できなかったため、札幌市に依頼をかけて貸室対象外の2部屋も使用を許可してもらうと共に当日朝の開館時間を早めてもらうなど配慮をしてもらった。
- ⑥面接委員のスキルアップまたは再確認の場を設けたい。

VII 手話通訳者育成指導者養成の開催

1. 手話講師育成講座事業（札幌市委託事業）

(1) 2017年度手話講師育成講座事業の開催

2014年度に開催しており4年目である。手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う講師（人材）の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的としている。

①手話奉仕員養成課程

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
入門課程	7回	11月12日	18名	16名	88.9%
基礎課程	14回	12月10日～1月14日	32名	11名	34.4%

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷悌子、菅原美樹、山田幸雄

②手話通訳者養成課程

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
通訳Ⅰ課程	14回	2月4日～2月18日	32名	11名	34.3%
通訳Ⅱ課程	7回	3月10日～3月11日	32名	11名	34.3%

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷悌子、山田幸雄

③理論講義手話通訳者養成課程

	講師	実施日	受講者数
ことばの仕組み(手話)	筑波技術大学教授 大杉豊氏	11月10日	44名

手話通訳の理念と仕事	全国手話研修センター 川根紀夫氏	3月11日	34名
------------	---------------------	-------	-----

【手話講師育成講座講師団】

ろう講師は札幌協の会員で講座の指導経験が豊富な者、聞こえる講師は専通が担当し、調整して進めた。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- ①2016年度より受講しやすさを考慮して、土日集中型で日程を組んでいる。講師の人材育成が急務であり、青年部にも呼びかけ受講生の確保に努めた。行事等が重なり調整が大変と思われる中、昨年度と比べ修了率は伸びている。
- ②指導書を読みこなして、手話の文法的な特徴や講座ごとのねらいの説明等、模擬講座を通して取り組んだが難しいと意見があった。受講生は積極的に取り組み、楽しく活気あふれる講座であった。
- ③アンケート結果からは、指導及び評価の難しさを実感したこと、グループ討議が参考になったこと等意見があった。また、今年は、1コマ50分の1日7講座としたが、グループでの意見交換や討議の時間が足りなかったという意見が多く、時間割については検討課題となった。理論講座①②の理論講義については、講師活動に必要な知識を深く学ぶことができた。

【公2】生活支援事業

I 聴覚障害者支援センターほほえみ

1. 地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員：12名×2ヶ所）
聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び高齢の聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

(1) 地域活動支援センターほほえみ西

- ①外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援
- ②手話通訳を介しても理解が難しい利用者や家族、医療機関などへの支援
- ③同じマンション内にある歯科への受診
(義歯の破損や急な痛みがあった際の診察同行、重い障害がある利用者の待ち時間負担の軽減)

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：西区二十四軒4条3丁目4-35 カルチェド札幌108号室

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

⑦通所者数・月別(延べ人数) (単位：名)

	17年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	18年 1月	2月	3月
男性	104	94	111	136	122	108	126	142	103	101	75	101
女性	82	87	99	113	87	107	99	107	113	117	101	120
合計	186	181	210	249	209	215	225	249	216	218	176	221

①各区分・月別(延べ人数)

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
男性	2	4	7	6	1	0	0	1	8	5
女性	2	5	6	5	1	0	0	0	5	10
合計	4	9	13	11	2	0	0	1	13	15

(2) 地域活動支援センターほほえみ厚別

- ①外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援
- ②緊急時の関係各所へ連携（ケアマネージャーやろうあ者相談員、通訳派遣室への連絡）
- ③不安や悩みがある家族に対しての相談と情報提供（区役所やろうあ者相談員、ほほえみ事業所等の紹介など）

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：白石区栄通18丁目10-16 ハマナスビル103号

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

①通所者数・月別(延べ人数)

(単位：名)

	17年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	18年 1月	2月	3月
男性	66	49	68	86	86	81	85	91	58	61	47	52
女性	65	48	83	97	69	84	83	82	45	32	32	59
合計	131	97	151	183	155	165	168	173	103	93	79	111

②各区分・月別(延べ人数)

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	1	7	5	4	1	0	1	2	3	1
女性	1	1	4	4	8	0	2	0	1	2	2
合計	2	2	11	9	12	1	2	1	3	5	3

(3) ほほえみ西・ほほえみ厚別 年間行事報告

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				合計
			利用者	ボランティア	職員	その他	
2017年 4月18日	防災学習会	ほほえみ西集会室	18	3	6	0	27
4月27日	ボランティア研修会	ほほえみカフェ	0	12	5	0	17
5月19日	お花見	平岡梅林公園	21	8	7	0	36
6月5日	社会見学	北海道高等聾学校	24	10	7	0	41
7月7日	カフェ食事会 (ほほえみ厚別)	ほほえみカフェ	6	0	3	0	9
7月17日	ほほえみ祭り	身体障害者福祉センター	32	8	7	0	47
7月26日	カフェ食事会 (ほほえみ西)	ほほえみカフェ	12	2	3	0	17
8月18日	社会見学	小樽市総合博物館	29	4	7	0	40

10月14日	ぶらり市 バザー	西区山の手会館	22	3	7	0	32
10月23日	社会見学	キッコーマン醤油工場	28	7	7	0	42
11月8日	社会見学	札幌ホリビィックミュージアム	24	7	7	0	38
12月9日	全国聴覚障害者福祉研究交流集会 報告会	情報センター1F研修室	15	4	5	0	24
12月23日	クリスマス会	身体障害者福祉センター	41	12	7	4	64
2018年 3月30日	日帰り温泉旅行	ふとみ銘泉 万葉の湯	30	5	6	0	41

(4) 2018年度に向けての課題

①ほほえみ西

- ㊦利用者の総数は増えているが、1日の参加者が増えることで利用者同士のトラブルも起こりやすくなっている。解決のための支援については、職員同士の連携や、対応のための専門的知識を持つなど、職員間での話し合いや知識の向上が求められていると感じる。
- ㊧高齢化に伴い自力では通えなくなり、送迎を希望する利用者が増えている。送迎ができる職員が限られているため、送迎ボランティアをお願いしたり、来所日を変更してもらうなどの調整が必要である。
- ㊨日中活動の物作りに関しては、座布団の売れゆきが好調であるため、利用者も熱心に取り組んでいるが、1日を個々の作業で終わるのではなく、ゲームやおしゃべりなどの交流も大切と考える。楽しく交流できるよう、1日の流れを計画的に考え進めていくことが求められる。

②ほほえみ厚別

- ㊦利用者の高齢化に伴い、介護サービスの利用や転居などの理由により、総数が減少の傾向にある。通所者数を増やして行きたい。そのためには、日中活動がマンネリ化しないように、内容を考えていく。
- ㊧物作りが得意な利用者が多い。個々に合った物づくりを考えていく。手芸品や小物作りなどのバザー品の製作を行い、売り上げの向上に繋げていきたい。

2. 就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援B型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

(1) 利用者数

(単位：名)

	17年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	18年 1月	2月	3月	
利用者数	40	40	41	41	41	41	41	42	42	41	41	41	
延べ利用者数	572	553	644	611	610	592	598	581	579	507	498	617	

(2) 行事参加状況

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				
			仲間	ボランティア	職員	その他	合計
2017年 6月28日	社会見学	キッコーマン醤油工場・ロイズチョコレート工場	27	4	10	0	41
7月17日	ほほえみ祭り	身体障害者福祉センター	29	1	16	0	46
8月9日	全体防災学習会	市視聴覚障がい者情報センター	28	0	11	1	40
9月13日 ～14日	一泊旅行in北竜	北竜町	22	2	8	0	32
2018年 1月7日	鏡開き (白石少年武道教室)	札幌刑務所振武館	4	0	2	0	6
1月25日	西地区会新年交流会 (さっされん)	身体障害者福祉センター	17	0	6	0	23
2月11日	イエローレシートキャンペーン	イオン元町店	3	0	2	0	5
3月21日	仲間の話し合い	情報センター	28	0	13	0	41

(3) 出店バザー

月日	行事名	場所
2017年 4月13日14日	福祉バザー清田	清田区役所
4月16日	ほほえみ後援会総会	市視聴覚障がい者情報センター
4月20日21日	郵便局バザー	豊平郵便局
4月23日	盲導犬協会	北海道盲導犬協会
4月26日	実証実験	市社会福祉総合センター
4月27日	白石区役所バザー	白石区役所
4月29日	えこりん村バザー	恵庭市えこりん村
5月10日	実証実験	市社会福祉総合センター
5月13日	第13回輝け！ろうあヘルパーの 明日をつなげよう！フォーラム	市視聴覚障がい者情報センター
5月18日	白石区役所バザー	白石区役所
5月24日～26日	郵便局バザー	豊平郵便局
5月26日	あかしあ喫茶	札幌市あかしあ学園
5月28日	社員総会	市視聴覚障がい者情報センター
6月9日	実証実験	市社会福祉総合センター
6月12日～16日	郵便局バザー	豊平郵便局
6月24日	あかしあ祭り	札幌市あかしあ学園
7月7日	バザー in 元気ショップ	元気ショップ
7月13日	白石区役所バザー	白石区役所
7月15日	ガレット祭り	さとらんど
7月17日	ほほえみ祭り	市身体障害者福祉センター

7月22日23日	笑顔祭り	サンピアザ光の広場
7月23日	高聳祭バザー	北海道高等聳学校
7月26日	実証実験	市社会福祉総合センター
8月23日	実証実験	市社会福祉総合センター
8月24日	郵便局バザー	豊平郵便局
9月2日3日	全道ろうあ者大会	かでの2.7
9月8日～10日	そば祭り	さとらんど
9月14日	白石区役所	白石区役所バザー
9月15日	あかしあ喫茶	札幌市あかしあ学園
9月27日	実証実験	市社会福祉総合センター
9月29日	北の元気フェア	札幌コンベンションセンター
10月5日6日	福祉バザー清田	清田区役所
10月11日～13日	郵便局バザー	豊平郵便局
10月13日	手作りフェスティバル	きたえーる
10月20日	バザー i n 元気ショップ	元気ショップ
11月16日	白石区役所バザー	白石区役所
11月20日	郵便局バザー	豊平郵便局
11月25日26日	合同研修会	市社会福祉総合センター
12月7日	郵便局バザー	豊平郵便局
12月7日8日	福祉バザー清田	清田区民センター
12月8日	あかしあ喫茶	豊平郵便局
12月9日	全聴福研報告会	市視聴覚障がい者情報センター
12月13日	実証実験	市社会福祉総合センター
2018年 1月18日19日	豊平郵便局バザー	豊平郵便局
1月24日	実証実験	市社会福祉総合センター
1月28日	札サ連 研修交流会	市社会福祉総合センター
2月7日～9日	郵便局バザー	豊平郵便局
2月15日	白石区役所バザー	白石区役所
2月17日18日	笑顔祭り	サンピアザ光の広場
3月4日	耳の日市民のつどい	かでの2.7
3月7日～9日	豊平郵便局バザー	豊平郵便局
3月9日	あかしあ喫茶	札幌市あかしあ学園
3月16日	バザー i n 元気ショップ	元気ショップ
3月23日	実証実験	市社会福祉総合センター

(4) 委託販売場所

	店名	場所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	工房ぶらり&カフェ	北区麻生
4	株式会社ファウンド	中央区
5	円山動物園	西門オフィシャルステーション内

(5) 実習 受け入れ状況

月日	期間	学校名	学年	性別	内容
4月5日 4月14日	2日間	フィリピン (留学生)	30	男	4月5日 4月14日
9月7日	1日	遠軽町立生田原 中学校	3年	女	職場見学
10月2日～6日	5日間	北海道岩見沢高等 養護学校	2年	男	職場実習
10月12日	1日	北海道教育大付属 札幌中学校	3年	女	職場見学
11月16日	1日	札幌聾学校中等部	1年 3年	女	就業体験

(6) 見学・取材 受入れ状況

(単位：名)

月日	見学場所	人数	団体名・見学内容
2017年 5月12日	ほほえみカフェ 菓子工房ほほえみ ほほえみ作業所	40	全国ろうあヘルパー連絡協議会 施設見学
5月31日	ほほえみ作業所	3	通所希望者
6月27日	ほほえみ作業所	1	他事業所職員 施設見学
10月16日	ほほえみ作業所	1	ボランティア希望
2018年 1月11日	ほほえみカフェ	1	通所希望者
2月8日	菓子工房ほほえみ	4	HBCテレビ「今 ドキ！」取材
2月9日	ほほえみカフェ	1	通所希望者
2月14日	菓子工房ほほえみ	5	UHBテレビ「みんなのテレビ」取材
3月2日	菓子工房ほほえみ	1	ボランティア希望者
3月15日	菓子工房ほほえみ	1	通所希望者

(7) 防災訓練

月日	場所	参加者数				
		仲間	ボラ	職員	その他	合計
2017年 8月9日	市視聴覚障がい者情報センター	28	0	11	1	40
10月27日	菓子工房ほほえみ	6	0	3	0	9
2018年 2月6日	ほほえみカフェ	5	0	4	4	13
2月9日	ほほえみ作業所	14	0	5	2	21

(8) 送迎サービス

(ア) 盲ろうの仲間 (自宅⇄各事業所：徒歩・送迎車)

月	17年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	18年 1月	2月	3月	合計
回数	56	34	42	35	42	40	49	58	48	49	37	48	538
職員 送迎	25	14	19	15	18	19	21	25	19	21	15	19	230
家族	7	6	5	6	6	5	7	9	8	8	6	7	80
送迎 車	24	14	18	14	18	16	21	24	21	20	16	22	228

(イ) 事業所間の送迎 (地下鉄⇄作業所：送迎車) (盲ろう者他)

月	17年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	18年 1月	2月	3月	合計
回数	226	212	247	241	240	220	244	239	207	174	162	278	2690

(9) ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

①取り組み：下請け・委託作業

包装作業	シール貼作業【98,166枚】 タグ付け作業【138,000個】 新規：袋とじ作業（シーラー）【4,098枚】 新規：ダイレクトメール封入作業【17,489通】
施設外就労	企業内での包装作業【48回】
丁合作業	新規：区役所の窓口用袋の丁合作業【21,000部】
新聞帯封作業	札幌協の新聞と北聴新聞の発行作業
手提げの紐つけ作業	【20,519枚】袋の裁断作業も行っている。
紙ナプキン折り作業	【41,150枚】作業効率が上がり納品数が増えている。

②授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	消耗品の「台ふきん」が売り上げ増。より丁寧な縫製を心がけ取り組んでいる。
紙製品	英語の新聞の「ギフトバック」は定番で、注文は続いている。新たに2枚合わせで制作し多機能なバックを試作販売している。

	点字の封筒も種類を増やし販売数を増やせるよう工夫している。
支部記念品	清田支部設立20周年記念の記念品の注文をいただき売上につながった。【150個】

③作業所の売上推移

(単位：円)

	バザー	ショップ	下請作業	収入計
4月	12,358	25,845	106,481	144,684
5月	26,970	21,201	29,540	77,711
6月	14,868	22,634	36,953	74,455
7月	51,588	32,525	104,912	189,025
8月	6,699	35,390	263,880	305,969
9月	66,657	28,678	98,711	194,046
10月	21,656	19,347	32,325	73,328
11月	7,064	18,140	120,967	146,171
12月	8,794	27,138	115,981	151,913
1月	18,717	26,307	102,150	147,174
2月	19,808	25,207	59,707	104,722
3月	6,577	23,238	43,500	73,315
合計	261,756	305,650	1,115,107	1,682,513

【目標】

ほほえみ作業所では、他事業所からの紹介で新しくダイレクトメールの封入作業を請負うことができた。また、下請会社が2社増え売上増につながることができた。

2018年度は、作業効率をあげ受注量を増やせるよう取り組んでいきたい。

(9) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけでなく、納品やバザー、訪問販売等を通して、社会とのかかわりを促した。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水3条3丁目2-8

内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等

①取り組み：現状の把握をしながら、商品の開発、利用者の技術の向上を目指す。

製菓・製パン作業	製パンについて、同じ生地から2種類のパンを作ること で1日に販売するパンの種類を増やすことができた。 製菓では、今までの材料で配合を変えもっと美味しく なるよう調整をした。袋の形を変えるなど販売方法の 工夫で売り上げを増加させることができた。
ミニショップ	週3日(火・水・木)午前11時～午後3時まで販売。 パンが地域に定着したことで固定客が増えている。
社会への参加	売上を伸ばすだけでなく、バザーやお店への納品の 仕事を通して、社会との関わりを促した。

②菓子工房の売上推

月	ショップ 売上 (単位：円)	その他売上 (単位：円)	菓子工房 売上 (単位：円)	来客数 (単位：円)	営業日数 (単位：円)
4月	30,463	66,586	97,049	86	11
5月	41,067	56,165	97,232	105	10
6月	30,091	62,680	92,771	58	12
7月	35,854	56,704	92,558	54	9
8月	36,667	42,957	79,624	50	13
9月	43,223	55,534	98,757	39	10
10月	27,084	146,240	173,324	55	10
11月	26,804	56,516	83,320	54	12
12月	30,102	59,284	89,386	76	9
1月	19,433	62,141	81,574	49	8
2月	26,876	57,517	84,393	80	10
3月	26,201	80,559	106,760	72	8
合計	373,865	799,736	1,176,748	778	123

③新しい取り組みと効果

大豆ミート袋 詰め作業やラ ベル貼り	「ハーモニーガーデン大地の便り」の依頼で計量、袋詰め、 パッケージ作業を行いました。 パンやクッキーの作業場所と重ならないよう調整を行っている。 細かなラベルの作業ができるように指導を行う。
訪問販売	毎月決まった場所で訪問販売をしています。 場所により仲間と一緒に販売を行っています。
お茶のティー バック作り・ 販売	昨年に引き続き企業からの注文が増えたが今までの課題であ った納品について、職員の調整が難しかったが、元気ジョブ の担当の方にお問い合わせすることで仕事を受ける事ができた。

【目標】

菓子工房ほほえみでは、商品の安定した提供、販売個所の検討も行いつつ企業からの下請け作業も受ける事ができるよう調整をしていく。

2018年度も利用者の体調確認を行いながら楽しく通える環境づくりを目指します。

(10) ほほえみカフェ

菓子製造・喫茶業務の仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：火～土 9：30～15：30

場所：豊平区豊平3条7丁目1-1

内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数・部門別売上

月	人数(名)	カフェ部門(円)	菓子部門(円)	計 (円)
4月	275	152,410	333,173	485,583
5月	266	140,480	332,648	473,128
6月	276	152,140	248,242	400,382
7月	243	153,483	276,188	429,671

8月	321	114,919	325,379	440,298
9月	266	177,240	363,982	541,222
10月	256	160,100	237,051	397,151
11月	251	143,440	272,915	416,355
12月	274	179,035	432,377	611,412
1月	149	89,700	221,562	311,262
2月	335	154,020	345,165	499,185
3月	281	138,049	299,368	437,417
計	3,193	1,755,016	3,688,050	5,443,066

②ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー 無料貸出	4月	デフフォトクラブ写真展
	5月～6月	ほほえみ仲間の写真展
	6月～7月	デフフォトクラブ写真展
	7月～8月	水彩画展
	8月～10月	ぶんれい一座の絵手紙展
	10月～11月	デフフォトクラブ写真展
	12月～1月	ワークショップ「実の里」様 利用者さんの絵画
	2月	アイヌ文様刺しゅう作品展
	2月～3月	三浦貴史氏絵展
手話サロン	第1水曜日	平均参加人数12名
絵手紙教室	第1、第3 木曜日	平均参加人数4名

③取り組み

期間	内容
4月～3月	カフェにて委託販売（トマトソース・味噌等）
4月～3月	豊平郵便局バザー（3～5回/月） 実証実験バザー 白石区役所バザー
5月～10月	エル・クォール訪問販売（1回/月）
4月～3月	さっぽろ産業訪問販売 あかしあ訪問販売
11月～	元気ショップ・いこーるでシフォンケーキ販売開始
12月	クリスマス特別ランチとクリスマスケーキ販売 カフェにて委託販売（カレンダー）
2月	バレンタインケーキ販売
3月	ひな祭り特別メニューと菓子販売 ホワイトデー菓子販売

	ハウイスコーン委託製造
--	-------------

【目標】

ほほえみカフェでは、利用者と職員が定期的に話し合いの機会を作り、新製品の開発の他、ギャラリーの宣伝の効果でお客様が増えた。

2018年度は、6月にオープンしてから5周年を迎えるので、もっとたくさんのお客様に利用していただけるように努力していく。新しい通所者を増やすために、カフェの魅力を伝えるイベントの企画等を考えたい。

(11) ほほえみ食堂

調理・接客業務の仕事を通して新たな可能性を広げる就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～14：30

場所：西区二十四軒2条6丁目札幌市身体障害者福祉センター内

内容：調理・接客、販売、清掃等

来客数・売上

	人数(人)	営業日数(日)	食堂・収入(円)
4月	445	18	232,732
5月	419	19	225,241
6月	490	20	248,862
7月	467	18	231,803
8月	436	20	233,107
9月	508	17	241,166
10月	410	19	204,927
11月	478	17	257,421
12月	429	18	210,817
1月	395	17	207,199
2月	502	18	247,092
3月	378	20	202,511
計	5357	221	2,742,878

【目標】

ほほえみ食堂では、利用者と職員が話し合いを重ね動きやすい厨房設備の配置や進めやすい役割分担を工夫した。

2018年度は、新メニューを増やし売上増につながるPR法を考えたい。

3. 共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

共同生活援助事業（外部サービス利用型）（入居定員5名）

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

① 利用者数

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

延人数	116	117	116	118	118	114	118	116	117	113	107	115
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

② 行事

㊦ 防災訓練 4回実施

月日	場所	参加人数			
		入居者数	職員数	その他	合計
2017年 8月11日	情報センター内 出前講座参加	3	2	2	7
2018年 2月11日	札幌市防災センター	4	4	0	8
3月11日	グループホーム内 (昼間と夜間を想定)	4	3	0	7

㊧ 外出レクリエーション

月日	場所	参加者数			
		入居者数	職員数	その他	合計
2017年 5月4日	円山動物園 北海道神宮花見	4	2	2	8
8月11日	新札幌水族館	4	2	2	8

* 季節の行事は 随時行っている。 11月に定期健康診断受診（勤医協札幌病院）

③ 見学者

月日	年齢	性別	結果
5月31日	20代	男	入居に至らず
11月7日	40代	男	入居に至らず

④ 取り組みと効果

入居者が一人で外出し保護されたことを機に、改めて人に助けを求める方法や事故の危険性などを繰り返し伝えている。また契約書や重要事項説明書などの見直しを行い安心して運営ができるよう改善を行った。

【目標】

聴覚障害者グループホームよつばでは、事業所内で一人一人に合わせた「健康学習会」を行い、自身の生活の見直しを行っている。

2018年度は、さらに健康管理に重点を置き、日々のウォーキング活動にも取り組んでいきたい。

4. 職員研修

(地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所・共同生活援助事業所)

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
5月22日	盲ろう者介助について	地域活動支援センター職員	18	全職員
6月10日	新人研修	公益社団法人札幌聴覚障害者協会 事務局長高嶋正博氏	4	全職員
6月10日	職場で円滑に仕事をす	NTTソルコ北海道	18	全職員

	るためのコミュニケーションセミナー	テレマート (株)		
6月17日	「これって虐待？」	札幌市保健福祉局	3	B型職員 共同生活 援助職員
6月29日 ～30日	社会就労センター 施設長・職員研修	全国社会就労センター 協議会	1	全職員
7月11日 ～13日	新人職員研修	全国手話研修センター	1	全職員
7月24日	相談事業所の業務と 連携	相談室あゆむ	1	B型職員
7月28日	障害者虐待防止法に ついて	社会福祉法人札幌社会福 祉協議会自立支援 課長 佐藤明紘氏	7	地活職員
10月23日 ～24日	北海道障がい者虐待 防止・権利擁護研修	北海道保健福祉課	1	B型職員
10月28日	ソーシャルワークに ついて	公益社団法人北海道社会 福祉協議会 相談役高橋修一氏	18	全職員
11月11日	フォローアップ 「研修面談技法」	NPO法人ノーマライゼー ションサポートセンター こころりんく東川 大友愛美氏	1	B型職員
11月23日	大人の発達障害を 考える	北海道発達障害者支援セ ンターあおいそら	1	共同生活 援助職員
11月25日 ～26日	全国聴覚言語障害者 福祉研究交流集会	全国ろう重複障害者 連絡協議会	2	地活職員 共同生活 援助職員
11月28日	障害福祉サービス等 初任者研修in札幌	社会福祉法人生振るの里 市川博康氏	2	B型職員
12月5日	札幌市障害福祉サー ビス事業所管理者等 研修	札幌市保健福祉局障がい 保健福祉部	1	B型職員

2月3日～ 4日	全国福祉施設聴覚障 害職員会研修会「聞こ えない職員と聞こえる 職員の集団作り」	全国ろう重複障害者連絡 協議会	1	地活職員
2月26日	通訳の実践研修	聴覚障害者支援センター ほほえみ職員	18	全職員
3月1日	食品表示基準に基づ いた加工食品表示に ついて	札幌市保健所食の安全推 進課	1	B型職員

5. 聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2017年4月～2018年3月（年3回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2017年4月8日	11名	3	2018年1月20日	10名
2	9月23日	11名			

時間：10：00～12：00

運営委員：

北海道高等聾学校：柳谷正教教諭

北海道札幌聾学校：柴田和千代教頭

札幌ろう重複児・者家族会：後藤勇一会長

札幌手話サークル連絡協議会：菅原順子会長、坂本美恵子広報部長

札幌手話通訳問題研究会：山田幸雄運営委員長、佐藤薫北通研担当

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：樋口道雄事務局長

那須美枝子会計部長

聴覚障害者支援センターほほえみ

就労継続支援B型事業所ほほえみ作業所：柏崎弘子所長

ほほえみカフェ：秋井利江店長

聴覚障害者支援センターほほえみ

地域活動支援センター：笹森誠二所長

（公社）札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、佐藤正昭理事

【福祉・労働部】

運営委員会の開催を年3回行った。

運営委員会では各所長より事業報告を行なった後、質疑応答、意見交換や情報交換を行なった。バザー開催の情報発信が少ないのではないのかという意見が出され、各団体への発信を強化することとした。今後も運営委員からアドバイスをいただきながら、より良い運営を行っていく。

6. 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）

聴覚障害者支援センターほほえみの運営を円滑にするため、後援会主催の街頭募金活動に参加協力をした。

日時：2017年6月11日（日）悪天候のため中止・9月10日（日）のみ施行

場所：大通公園周辺・狸小路4丁目

【福祉・労働部】

街頭募金活動に各支部や柔道少年団体など多数の参加を頂き、協力に感謝します。

各区より参加予定者数を前もって連絡頂けたので、後援会に伝え、担当場所の振り分けを決めて頂きました。

〔課題〕：大通周辺の催事（歩行者天国）の音量が大きく歩行者に聞こえるように声を張り上げて頑張ったので募金活動場所の選定に苦慮しました。今後に繋がります。

7. 福祉・労働部

①聴覚障害者支援センターほほえみ後援会について

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会役員会に6回出席、他は恒例のほほえみ祭り、講演会「知りたい！おしえて！ほほえみの郷」に多数の参加がありました。

②「放課後等デイサービス」の事業について

1月19日（金）第1回会議を行った。参加した研修会などから情報を集めて協議しました。まず、保護者対象にアンケートの取り組みを行う方向で確認をしました。

II 字幕・手話付き映像作品の制作

1. 聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する作品を制作した。

期間：2017年4月～2018年3月（年間）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター聴覚障害者情報提供施設事務室

内容：年間33本制作（内訳は以下のとおり）

（1）講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 (3本)	フィリピンのろう青年の運動	71
	引き継ごう未来へ～つながろう！仲間の輪～	94
	若手への継承～前編～	73
教材 (3本)	地名の手話～北海道編～	14
	通じる手話の工夫パート3	41
	聴覚障害者の合理的配慮とは？	40

（2）ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース(2017年4月号)	55
①聴障者のためのサ高住「ほほえみの郷」開所 ②フィリピンのろうあ者の暮らし ③2017年度新規札幌市登録手話通訳者	
札幌聴覚障がい者ニュース(2017年5月号)	28
①障がい福祉施策について	
札幌聴覚障がい者ニュース(2017年6月号)	46
①札幌協設立70周年記念式典および祝賀会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2017年7月号)	20
①第5回ほほえみ祭り	

札幌聴覚障がい者ニュース(2017年8月号)	25
①地下鉄利用時に災害が起きた場合の行動	
札幌聴覚障がい者ニュース(2017年9月号)	15
①札幌ろうあ老人クラブの敬老会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2017年10月号)	15
①ろう高齢者手話サロン・あさぶ	
札幌聴覚障がい者ニュース(2017年11月号)	41
①北城ろう学校卒業生・上江洲さん講演	
札幌聴覚障がい者ニュース(2017年12月号)	31
①第3回札幌デフフォトクラブ写真展 ②薬剤師が教えるクスリの管理	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年1月号)	15
①札幌ろうあ老人クラブ新年会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年2月号)	20
①第31回市内手話サークル研修交流会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2018年3月号)	40
① 第40回耳の日市民のつどい ②「札幌市手話言語条例」成立	

(3) 自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
ニセコに行ってみた	19
手話を読み取ろう2017～雪～	31
手話を読み取ろう2017～青年～	20
2017年度札幌市手話動画集(1)	26
2017年度札幌市手話動画集(2)	25

(4) インターネット配信用映像(市政に関する内容) 10本

タイトル	時間
1歳未満の乳児にはハチミツを与えない	2分50秒
2017年度札幌市手話講習会修了式	7分29秒
ヘルプマーク・ヘルプカードについて	4分19秒
札幌市障がい者コミュニケーション条例について	8分41秒
スプレー缶・カセットボンベのごみ出しルール	2分24秒
札幌市手話言語条例が成立しました	4分16秒
水道局の名前で送られてくる偽メールや偽水道局職員にご注意ください!	4分27秒
賃貸住宅の原状回復費用に関するトラブルに注意!	6分22秒
弾道ミサイル落下時の行動等について	4分4秒
札幌市防災アプリ(愛称:そなえ)について	5分18秒

2. 「目で聴くテレビ」制作・提供

C S 障害者放送統一機構「目で聴くテレビ」へ『札幌デフビデオ』（月1本）と他1本を提供。

3. 職員研修

「聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会」に参加（亀田職員）
 期日：2017年11月8日～10日
 会場：岡山県聴覚障害者センター（岡山県岡山市）
 〈一日目〉主な内容
 「電話リレーサービスの動向」
 講師：小竹安治（聴覚障害者の情報メディアに関する専門委員会委員長）
 「遠隔手話通訳サービス～熊本の取り組み～」
 講師：小野康二（熊本県聴覚障害者情報センター）
 〈二日目〉主な内容
 「岡山の自主制作の取り組み」
 講師：追中篤志（岡山県聴覚障害者センター）
 〈三日目〉グループ討議（ICTを活用した情報支援について等）

4. 課題・目標等

今年度は通常の委託事業以外に追加で行ったビデオ制作が数多くあり、インターネット配信用動画の制作が年度末の3月に集中してしまった。今後は年間を通してバランス良く制作を行うようにする。

Ⅲ 字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

1. 聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業（札幌市委託事業）

（1）業務内容

- ①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障害者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。
- ②聴覚障がい者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。
- ③パソコンを聴覚障害者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。
- ④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかわる事務を行なった。

（2）期間：2017年4月～2018年3月

（3）場所：市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室

（4）開室時間

曜 日	開室時間
月曜日	午前10時～午後5時
火曜日	午前10時～午後5時

水曜日	午前10時～午後8時45分
木曜日	午前10時～午後7時
金曜日	午前10時～午後8時30分

(5) 貸出内容：

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	4	13	40	30	36	43	31	17	18	15	1	1	249
利用人数	1	8	10	26	21	12	8	38	3	43	1	1	172
利用件数	2	10	27	19	24	28	19	8	6	8	1	1	153

②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	102	112	88	118	129	85	123	165	111	86	54	99	1272
利用人数	73	41	56	70	51	31	69	81	32	90	32	41	667
利用件数	70	72	65	80	83	58	73	102	56	54	35	63	811

③情報機器利用貸出(ビデオ、DVD閲覧、IT閲覧、CS放送閲覧、プロジェクター利用)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	5	2	4	1	2	1	0	3	3	9	2	1	33
IT閲覧	12	3	6	8	3	5	4	8	7	1	3	1	61
CS閲覧	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	18	25	27	34	29	33	40	25	21	21	19	23	315
OHC	1	1	1	1	1	1	6	0	0	1	0	0	13
合計	40	35	42	48	39	44	54	40	35	36	28	29	470

(6) 貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者

- ①身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障害者（児）及び保護者
- ②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
- ③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障害者の福祉向上に関心がある者

2. 全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

- (1) 「①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等」の実績は年々落ちてきている。「NHKみんなの手話」が1番貸出が多い。
- (2) 「②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ」は貸出・視聴本数と借りた回数、利用者は減っている。
- (3) 今後、当協会のホームページやSNSによる情報発信を強化していく。そして、聴覚障害者団体にビデオを持っていき情報提供に努めていきたい。（団体はサ高住やほほえみ関係）

IV 聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業（札幌市委託事業）

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

1. 聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2017年4月～2018年3月

（年間30回開催の内、協会各区支部で1回ずつ開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター・各区民センター他

参加対象：札幌市内存住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障害者

社会生活教室開催状況

月日	テーマ	講師※敬称略	参加者
4月6日	障がい者交通費助成制度のICカード移行について	古川悠也(札幌市障がい福祉課在宅福祉係)	35名
4月6日	フィリピンのろうあ者のくらし	C・アモモンボン(フィリピン・ラブラブ市ろう協会会長)	45名
4月8日	風呂敷・手ぬぐいを楽しくオシャレに使ってみませんか？	齋藤のりこ(さっぽろ子育て風呂敷術「結び屋ゆいく」)	13名
4月8日	フィリピンのろう青年の運動	C・アモモンボン(フィリピン・ラブラブ市ろう協会会長)	32名
5月7日	介護予防体操	畠山和子(介護職員)	18名
5月13日	障がい福祉施策について	堀井雄介(札幌市障がい福祉課給付管理係長)	11名
6月8日	山菜と毒草の見分け方	佐藤孝幸・坂本和佳(札幌市保健所食の安全推進課)	31名
6月10日	手話言語	福島太郎(札幌聴覚障害者協会 理事)	15名
6月15日	認知症予防運動	奥村宣久(北海道文教大学人間科学部 准教授)	36名
7月13日	おなか健康教室	樋原妙子(札幌ヤクルト販売株式会社広報室)	37名
7月16日	アドラー心理学	佐高葵月代(アドラー心理学研究会主宰)	11名
8月26日	カラーセラピー	米澤令(カラーセラピスト)	11名
10月12日	相続と遺言	船山暁子(弁護士)	30名
10月29日	エアロビクスとコンディショニング	宮本留美子(日本コンディショニング協会)	10名
11月3日	ズパゲッティを使った編み物教室	村田とし恵(日本手芸普及協会手あみ師範)	12名
11月5日	119番通報メールの使い方	札幌市消防局指令課 職員	22名
11月9日	消費者被害について	小田嶋真悟(弁護士)	38名
11月17日	聴覚障がい者のための手話教室	佐藤尚行(札幌聴覚障害者協会青年部)	16名
12月3日	メール110番の使用方法	北海道警察本部通信指令課 職員	17名
12月14日	薬剤師が教えるクスの管理	助森綾(ココカラファイン薬局・薬剤師)	32名
1月20日	雪崩ビーコンの使い方	土栄拓真(登山ガイド・山楽舎 BEAR 所属)	14名
1月20日	絵手紙教室	しま ぶんれい(絵手紙ぶんれい一座 座長)	6名
1月21日	地形図の読み方	土栄拓真(登山ガイド・山楽舎 BEAR 所属)	20名
1月21日	物忘れと認知症	北川小有里・外木薫(地域包括支援センター)	18名
2月11日	ストーマ(人口肛門)の基礎知識	和角彰子(天使病院・皮膚排泄ケア認定看護師)	15名

2月24日	ほめ達セミナー	高橋佑輔(日本ほめる達人協会特別認定講師)	2名
3月3日	どこでもできる姿勢を鍛える方法	岩崎拓(健康運動実践指導者)	14名
3月5日	お肌のお手入れと春のお化粧品教室	コーセー化粧品販売株式会社 美容スタッフ	14名
3月8日	視覚障がい者のお話	山田英雄(札幌市社会福祉協議会登録講師)	29名
3月21日	風景の撮り方&レタッチ教室	津村明彦(スタジオあんぐる カメラマン)	10名

- ①年間参加者延人数が、前年度（2016年度）の589名に対して、今年度（2017年度）は614名と増加した。
- ②30回中28回は、参加人数が最低目標数の10名を超えた。
- ③年に2回開催する支部は、参加人数も多い傾向にある。

V 聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施（市委託事業）

コミュニケーション手段に著しい障害を有する聴覚障害者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の訓練を行ない、聴覚障害者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回

場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室

訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・発語訓練、日常生活訓練

①障がい別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	7	9	8	11	14	12	12	9	10	4	9	7	112
中途失聴	0	2	1	2	1	2	1	1	0	2	1	0	13
重複障がい	6	7	5	6	7	6	7	6	5	5	4	6	70
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	18	14	19	22	20	20	16	15	11	14	13	195

②内容別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
聴力検査	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
構音	4	2	2	3	10	7	9	5	6	1	6	4	59
総合練習	8	11	8	10	10	9	10	8	8	5	7	8	102
読話	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	1	4	1	4	2	4	1	3	1	5	1	1	28
合計	13	18	14	19	22	20	20	16	15	11	14	13	195

対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障害者・失語症者

VI 聴覚障害者情報提供施設事業運営会議

構成：札幌市・札幌市視聴覚障がい者情報センター・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会・（公社）札幌聴覚障害者協会
 期間：2017年4月～2018年3月（年間3回開催）
 会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2017年4月17日	10名	3	2018年1月15日	10名
2	7月24日	9名			

時 間：15：00～17：00

出席者：札幌市：(障がい福祉課)松下由紀夫係長、西山洋平職員
 札幌市視聴覚障がい者情報センター：池田盛人センター長
 札幌手話サークル連絡協議会：菅原順子会長
 札幌手話通訳問題研究会：太田利実副運営委員長
 (公社)札幌聴覚障害者協会：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、
 高嶋正博常務理事、京野大樹法人事務局次長、亀田雅春職員

内 容：①情報提供施設が行う事業について現況報告および意見交換を行った。
 ②災害時の情報提供施設の役割について意見交換を行った。
 ③情報センター備品(液晶テレビ・プロジェクター)の更新をお願いした。

VII その他（会議等）

①特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2017年度総会・第13回（通算第25回）大会

日時：2017年6月8日（木）～9日（金）

場所：ホテルレイクビュー水戸（茨城）

内容：1日目 13：00～14：15 2017年度総会

15：00～18：30 第13回大会（式典・シンポジウム）・

シンポジウム「電話リレーサービス、遠隔手話サービスと

聴覚障害者情報提供施設」

コーディネーター 小野康二

シンポジスト 厚生労働省、日本財団、全日本ろうあ連盟、
 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

2日目 9：00～12：00 ブロック会議・全体会

第1ブロック（北海道・東北地区）

派遣者：高嶋正博常務理事（市の代理派遣）、渋谷梯子課長

②全国聴覚障害者情報提供施設協議会平成29年度第1ブロック（北海道・東北地区）活動研修会

日時：2017年11月2日（木）10：30～15：30

場所：宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）

内容：「施設運営に関わる工夫・課題等」の意見交換

「電話リレーサービス・遠隔手話リレーサービスと聴覚障害者情報

提供施設」講演 講師：小竹安治（滋賀県聴覚障害者センター副所長）
派遣者：高嶋正博常務理事・京野大樹法人事務局次長・渋谷梯子課長

③電話リレーサービス事業実施に関する打合せ

日時：2018年3月23日（金）13：00～15：30
場所：宮城県聴覚障害者情報センター
内容：平成30年度電話リレーサービス事業実施に関する打合せ
出席者：青森県聴覚障害者情報センター古川光啓所長
福島県聴覚障害者情報支援センター吉田正勝所長
宮城県聴覚障害者情報センター松本隆一施設長
札幌聴覚障害者協会高嶋正博常務理事

【公3】啓発・広報事業

I ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的として行なった。

耳の日事業「第40回耳の日市民のつどい」

期日：2018年3月4日（日）
会場：北海道立道民活動センター（かでの2・7）
内容：記念講演「くまの話」「さけの話」
講師：坂元 秀行 氏（のぼりべつクマ牧場 飼育係長・学芸員）
吉野 州正 氏（国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区
水産研究所 さけます生産技術部 八雲さけます事業所 事業所長）
アトラクション：演劇「A I N U（アイヌ 失われた言語Ⅱ
～Revolution～（レボリューション）」
北海道石狩翔陽高等学校ボランティア局
手話スピーチ「聞こえない私の現在・過去・未来」
長谷川幹奈さん（北海道石狩翔陽高等学校）
来場者数：275名（一般 116名、会員 158名、高校以下1名）
対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

2人の講師にそれぞれ「くま」と「さけ」に関する講演をしていただきました。講演後、パネルトークを行いました。くまやさけが生活する自然環境を大切にすることを共通してまとめられました。

アトラクションは、石狩翔陽高等学校ボランティア局が、2017年9月に鳥取県で開催された「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」に出場した内容を披露してもらいました。スピーチは、長谷川幹奈さんが「聞こえない」ことに対する思いを熱弁し、みなさんから大きな喝采をいただきました。

Ⅱ ろうあ者と聞こえる人の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」

第58回全道ろうあ者大会（札幌）開催のため2017年度は休止。

Ⅲ 聴覚障がい者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

1. 聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

(1) 公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会への参加

期日：2017年7月30日（日）

場所：市視聴覚障がい者情報センター

内容：午前の部：全日ろう連評議員会報告と運動の取り組み
全国ろうあ者大会研究分科会報告

午後の部：レクリエーション

(2) 第20回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）

期日：2017年10月8日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2.7）

内容：「大阪ろうあ会館の労働事業から
（ろうあ者相談員・手話協力員・手話通訳の役割）」

講師：清田 廣氏（公益社団法人 大阪聴力障害者協会 相談役）

(3) 2017年度公益社団法人北海道ろうあ連盟組織部・福祉部・情報コミュニケーション部合同研修会への参加

期日：2017年11月11日（土）～12日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2.7）

内容：11日（土）第1講目「全日ろう連」＆「北ろう連」（運動の動き）
& 私たちの課題

講師：金原 浩之（北ろう連 事務局長）

講師：渋谷 雄幸（北ろう連 副理事長）

第2講目「地域協会の情勢」参加者全員で話し合う

12日（日）第3講目「運動の質的発展のために」

第4講目「参加者全員で話し合う」

(4) 第18回ろう教育フォーラムin北海道への参加

期日：2017年12月10日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2.7）

内容：午前 第1部「大学における聞こえない学生の情報保障について」

講師：新國 ^{につくに} 三千代 ^{みちよ} 氏（札幌学院大学 教授）

午後 第2部「ヨーロッパのろう教育の現状～イギリスを中心に～」

講師：大西 ^{おおにし} 孝志 ^{たかし} 氏（東北福祉大学 教授）

2. 第10回札幌合同研修会（札幌協・札幌研）

（1）第10回札幌合同研修会の開催

札幌協・札幌研がともに研修会を開催し、共通する課題に取り組み、今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催した。

期日：2017年11月25日（土）・11月26日（日）

会場：札幌市社会福祉総合センター、札幌市視聴覚障がい者情報センター

参加者：141名

内容：

1日目 開会式（札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室）

報告会 「札幌市における手話言語条例に関する報告」

報告者 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 理事長 渋谷 雄幸

講演会 講演テーマ 「引き継ごう未来へ～つながろう！仲間の輪～」

講師 全日本ろうあ連盟理事スポーツ委員会事務局長

倉野 直紀 氏

2日目（午前）共同企画（札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室）

テーマ 「基調講演を受けて～若手への継承」

パネリスト 札幌協／理事長 渋谷雄幸氏・青年部長 京野大樹氏

札幌研会員／運営委員 佐藤薫 氏・

N-Action札幌（仮称）準備委員会 樋口あやこ 氏

助言者 全日本ろうあ連盟理事スポーツ委員会事務局長 倉野直紀 氏

コーディネーター 理事 福島太郎 氏

2日目（午後）分科会

第1分科会（4階 大研修室）

テーマ「札幌協の歴史 おもしろゼミナール」

講師 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 理事組織部

第2分科会（札幌市視聴覚障害者情報センター2階 大会議室）

テーマ「ろうあ運動の歴史 おもしろゼミナール」

講師 札幌手話通訳問題研究会 副運営委員長 太田利実 氏

閉会式（札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室）

（2）札幌合同研修会実行委員会の開催

期間：2017年5月～2018年2月

会場：市視聴覚障がい者情報センター、札幌市社会福祉総合センター

時間：18：30～20：45

実行委員：札幌協：福島太郎理事、河村明子理事、美馬伸隆理事、
竹内昌子職員(1～6回)、佐藤尚行職員（7回）

札幌研：運営委員

回	月日	回	月日
1	5月30日	5	10月24日
2	6月23日	6	12月11日
3	7月28日	7	‘18年2月19日
4	9月26日		

【組織部】

合同研修会が10年目という節目を機に、団体から若手とベテランそれぞれの想いや、全日ろう連倉野理事からの基本的な組織活動の取り組み「誘う」と「説明する」それぞれが出来るようになることで、課題を打開出来る道筋が見えてきた。呼び掛け手段に紙媒体だけでなくネットを活用して、若手の参加者数の割合を増やして参りたい。

IV 「H S K 札幌聴障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「H S K 札幌聴障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「H S K 札幌聴障」を発行した。

期間：2017年4月～2018年3月（毎月1回発行・年間12回）

発行部数：700部

対象：札幌市内の聴覚障害者会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等

2017年度発行内容：以下、1面見出し（1部：10ページ）

4月号	サービス付き高齢者向け住宅「ほほえみの郷」 小規模多機能型居宅介護「ほほえみ手稲」 2017年4月1日オープン！
5月号	サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷オープンから1か月 NHKで放送・新聞で掲載される！
6月号	「お互いを理解しあえる共生社会を」 札幌協第7回定時社員総会を開催
7月号	祝 創立70周年を迎えて
8月号	第5回ほほえみ祭り ～ほほえみの仲間、お客さんと一緒に盛りあがる～
9月号	第58回全道ろうあ者大会in札幌 札幌に843名集う！！
10月号	第58回全道ろうあ者大会in札幌（詳細報告）
11月号	障がい者コミュニケーション条例成立！ 北海道内では初めての条例
12月号	札幌市手話言語条例 2018年4月制定に向けて始動！
1月号	「頌春」 2018年の新年に寄せて
2月号	2018年新年交礼会 手話がいつでもどこでも使える社会を
3月号	サービス付き高齢者向け住宅「ほほえみの郷」 小規模多機能型居宅介護「ほほえみ手稲」 オープンよりまもなく1年 コミュニケーションあふれる生活に

【広報部】

- ①2017年7月にサムスンデフリンピックが開催され、出場された会員の方にインタビューをした記事を掲載しました。
- ②サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷がオープンしたことで、2017年7月号より「さっぽろ聴覚障害者介護センターだより」の情報を1段から2段に増やして、「聴覚障害者支援センターほほえみだより」の情報を4段から3段にした。
- ③新年号を除き、毎号、札幌協事業に関する情報を掲載した。随時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の行事呼びかけや報告を掲載した。

V インターネットでの各種情報の提供

情報を随時更新して聴覚障がい者への理解を深め、札幌協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

1. ホームページ「公益社団法人札幌聴覚障害者協会」

更新形式がワードプレスに変わって1年が過ぎたが、各部署での更新作業がされているおかげでさらにアップする情報が増加した。

耳の日市民のつどいのPR動画をYouTube（ユーチューブ）にアップし、一定期間のみ掲載した。（視聴回数は280回）

今後アピールに関するものは、動画を制作してアップしていきたい。

2. 札幌協情報メール

メール配信の会員に対し、情報提供のメールを随時発信した。

2017年度発信数：No.687～748 37件

※登録者数：正会員 101名・賛助会員 50名

【収益等事業】

【収1】出版事業

1. 出版事業

手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。

※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。（2017年度売上状況）

I 小売販売		
書籍名	発行者	販売数
1) 全日本ろうあ連盟発行書籍		625冊
① 手話を学ぼう 手話で話そう（入門・基礎）		403冊
② わたしたちの手話学習辞典 I		117冊
③ 聴さんと学ぼう！		105冊
2) 北海道ろうあ連盟発行書籍		268冊
① 2018年手話カレンダー 大		100枚
② 2018年手話カレンダー 小		155枚
③ 北海道の手話		13冊
3) その他団体等発行書籍		61冊
① 手話・言語・コミュニケーションNo.4・5	全国手話研修センター	40冊
② みるみる日本語大航海	全国聴覚障害教職員	21冊
II 札幌聴覚障害者協会発行書籍		1102冊
さっぽろの手話		944冊
さっぽろの手話（医療編）		54冊
さっぽろの手話（販売・接客編）		11冊
さっぽろの手話DVD		93枚

売上増加への取り組みとして、在庫の書籍を割引販売して在庫整理の工夫をした結果、少額ではあるが売り上げにつながり在庫も減った。

課題としては、各手話辞典の売上が伸び悩んでいるため、初級講習会等で積極的なPRをお願いすることを検討している。さらに、仕入過多にならないよう工夫する。札幌協独自の新しい書籍等の発行、読み取り教材のDVDの要望も多いのでそれらを視野に入れ、売上増加に向けて検討する。

【収2】飲料自販手数料事業

1. 飲料自動販売手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。

自動販売機設置箇所は31ヶ所。(2017年度)

	設置先	区	飲料会社		設置先	区	飲料会社
1	市身体障害者福祉センター	西	キリン・大沼・コーラ・PS	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	PS	18	厚別南地区センター	厚別	ジャパン
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	ジャパン
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	ジャパン
6	西区体育館	西	キリン	22	星置地区センター	手稲	ジャパン
7	清田区民センター	清田	キリン	23	白石区複合庁舎	白石	キリン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	清田区体育館・プール	清田	ジャパン
9	市社会福祉総合センター	中央	キリン	25	清田区役所	清田	キリン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	札幌市下水道河川局	豊平	ジャパン
11	厚別区役所	厚別	大沼	27	中島体育センター	豊平	キリン
12	平岸プール	豊平	キリン	28	すみかわ地区センター	南	PS
13	中央図書館	中央	キリン	29	手稲区民センター	手稲	キリン
14	西野地区センター	西	キリン	30	スポーツ交流施設(つどーむ)	東	ジャパン
15	中央健康づくりセンター	中央	大沼	31	札幌市視聴覚障がい者情報センター	中央	キリン・大沼
16	はっさむ地区センター	西	キリン				

※キリン=キリンビバレッジ、大沼=サントリー、コーラ=コカコーラ、PS=PSビバレッジ、ジャパン=ジャパンビバレッジ

改修工事(中央図書館2018年3月終了予定・星置地区センター2018年2月末終了)の撤去により販売手数料が減収した。2018年度も札幌市社会福祉総合センターが改修のため4台設置のうち1階に設置している1台が撤去されるため減収の見込みである。

販売手数料の増加のために自販機設置拡大を考え飲料会社担当と入札のない設置場所を検討したい。

【収3】 さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

I デイサービスほほえみ白石

地域密着型通所介護事業及び介護予防通所介護事業

(介護保険・介護予防指定事業) ※指定開始日 2014年6月1日

2017年3月31日以降事業休止。

II ヘルパーステーションほほえみ白石

① 居宅介護事業 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2014年7月1日

② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業 (介護保険・介護予防指定事業)

※指定開始日 2014年9月1日

③ 移動支援 (札幌市地域生活支援事業)

※指定開始日 2014年10月1日

④ 同行援護事業 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2015年4月1日

⑤ 重度訪問介護事業 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2015年4月1日

期間：2017年4月～2018年3月 (年間) 場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

1. 事業内容

利用者の意思および人格を尊重し、介護計画に基づいたサービスを実施した。具体的には、手話のできるヘルパーを派遣することで、利用者に合ったコミュニケーションを保障しながら、以下の支援を行った。

(1) 居宅介護事業

障害のある人の自宅を訪問し、介護や家事、各種相談・助言、また通院介助等を行い、住み慣れた地域で自立して日常生活を送ることができるように支援する一方、家族などの介護の負担の軽減を図った。

(2) 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業

要介護・要支援状態にある人が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の自宅を訪問し、身体介護や家事援助を行なった。

(3) 移動支援

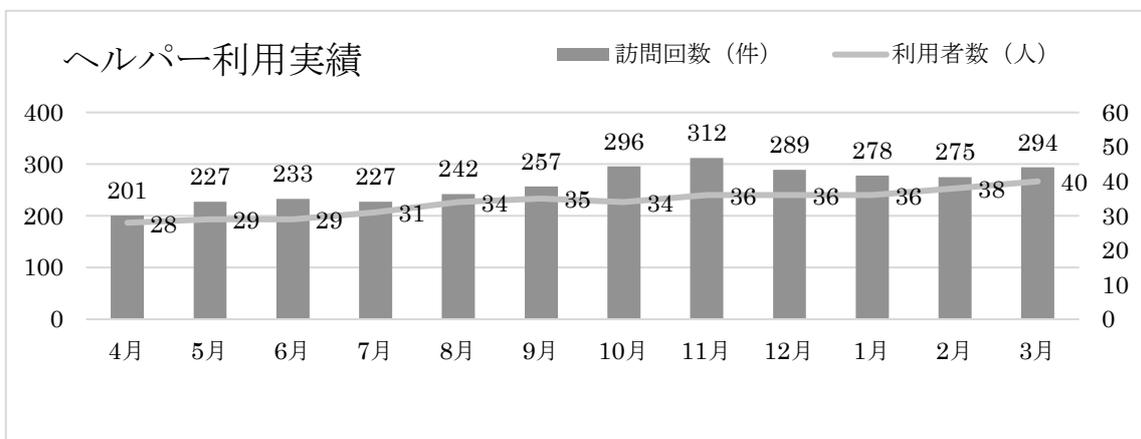
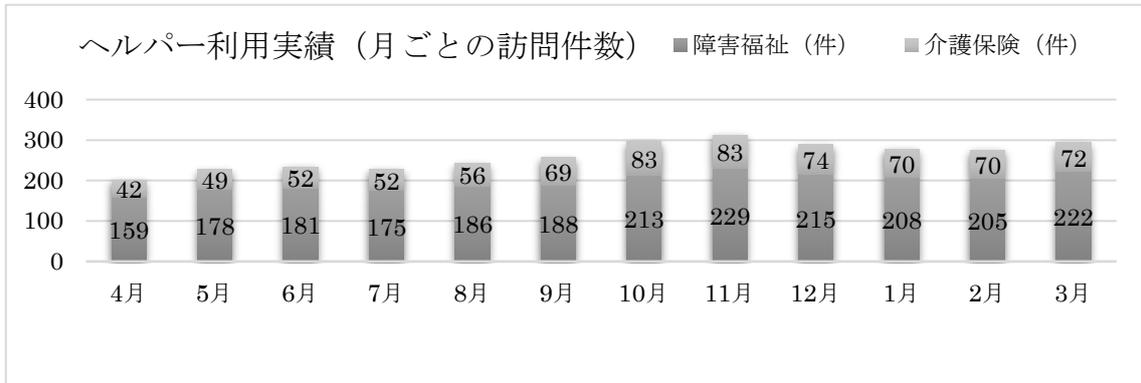
1人では外出困難な障害者(児)が、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動や社会参加のための外出時に必要な移動及び身の回りの介護等を行なった。

(4) 同行援護事業

視覚障害者の外出に必要な情報提供(代筆・代読を含む)や身体介護、その他、通院や社会参加、余暇活動など、外出に必要な援助を行なった。

(5) 重度訪問介護事業

重い障害がある人の自宅へ訪問し、居宅における身体介護や家事援助等生活全般にわたる援助を行なった。



29 年度 訪問 回数 内訳	障害者総合支援法							介護保険法			小計 件数
	居宅介護			重度訪問	同行援護	移動支援	共同生活	全国一律		総合事業	
	身体	家事	通院					要介護	要支援	要支援	
4月	18	17	9	0	36	17	62	22	18	2	201
5月	24	15	9	0	45	17	68	23	26	0	227
6月	25	16	9	0	36	21	74	28	17	7	233
7月	33	19	1	0	34	22	66	22	20	10	227
8月	31	22	5	0	42	22	64	24	16	16	242
9月	38	20	5	0	35	30	60	29	17	23	257
10月	43	30	10	0	39	26	65	32	26	25	296
11月	43	35	9	0	38	36	68	33	18	32	312
12月	43	32	9	0	38	22	71	29	14	31	289
1月	39	36	8	0	34	22	69	28	8	34	278
2月	42	33	8	6	29	24	63	32	4	34	275
3月	47	37	7	8	32	23	68	34	3	35	294

年間小計	426	312	89	14	438	282	798	336	187	249	3131
------	-----	-----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

2. 職員体制 計8名

常勤 3名	法人事務局長兼 管理者 (1)	サービス提供責任者兼 訪問介護 (1)	訪問介護員 (1)
非常勤 5名	訪問介護員 (5)		

3. 利用者の状況

住居区別	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
障害福祉	12	2	0	1	0	0	1	2	2	1	21
介護保険	10	3	1	2	1	1	0	0	1	0	19
小計 人	22	5	1	3	1	1	1	2	3	1	40

要介護度別 (人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	6	7	3	3	0	0	0	19
障害区分別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	その他	計
	1	4	4	4	2	2	4	21

4. 今年度の成果・反省

- (1) 通院・買い物・余暇活動等の外出支援の希望はあるが、ヘルパーの資格や技術等の関係もあり通院を優先し、余暇活動を断ったケースもある。
- (2) ヘルパーの不足により、新規の相談時に希望日時の訪問に添えないことで依頼に結びつかなかったケースや断らざるを得ないケースがある。
- (3) 2月に登録ヘルパー職員2名の採用をするが、1名は3月に就職先が決まり、1名は事情により退職となり、現在は人員に増減なく3名の登録ヘルパーが活動中。引き続き登録ヘルパーの募集を行っていく。
- (4) 地域の白石区第2地域包括支援センターのケアマネから、近隣地域の要支援者の相談があり、10名が契約に結び付いた。うち、1名は死亡、2名は施設等への入所となったが、4月のほほえみの郷（サービス付き高齢者住宅）への入居で5名、ほほえみ手稲（小規模多機能型居宅介護）への利用切り替えで1名、合計6名の利用者減の影響は解消され、地域との連携が取れるようになった成果と受け止める。

III サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を開設し、管理・運営を行った。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷

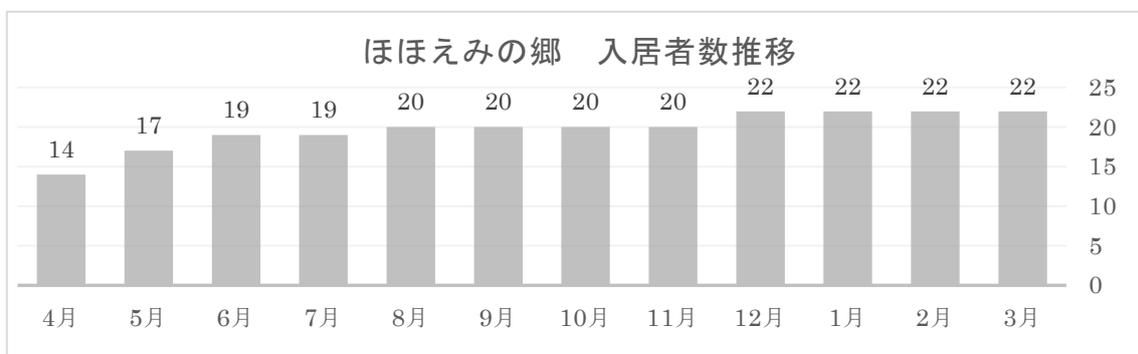
登録番号：札一16第12号（2016年8月19日登録）

期 日：2017年4月～2018年3月
 場 所：札幌市手稲区稲穂2条7丁目5-7
 介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設
 提供サービス：安否確認、生活相談、食事提供

1. 入居状況（2018年3月31日現在） 定員：20戸／24名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当月入居数(人)	14	3	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0
当月退去数(人)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
入居戸数計(戸)	12	15	17	17	17	17	17	17	19	19	19	19
入居者数計(人)	14	17	19	19	20	20	20	20	22	22	22	22

2. 入居者状況（2018年3月31日現在）



①年代・性別

年代	60代	70代	80代	90代	平均	97歳～67歳	男	女
人数	2	4	15	1	81.91歳	歳	10	12

②介護度

介護度	なし	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5
人数	3	5	3	4	5	0	2	0
平均	要支援2.5							

③市外等からの転入状況・夫婦等世帯

市内から転入	13 世帯／18 名	夫婦世帯	5 世帯
市外から転入	4 世帯／4 名	単身世帯	12世帯
道外から転入	0 名		

3. 職員等体制 (2018年3月時点)

常勤兼務 5名	所長兼 生活相談員(1)	生活支援員 (4)	※小多機能介護職員との兼務
非常勤兼務 4名		生活支援員 (4)	※小多機能介護職員との兼務
アルバイト 1名	食事準備・片付 1名	※早朝(朝食)のみ	
有償ボランティア 6名	食事準備・片付 5名	館内清掃 1名	※片付のみのボランティア有り

※食事準備及び片付の有償ボランティアについては、2018年4月より、完全アルバイト移行に向け、検討中。

4. 点検、修理、工事、防災対策等について

(1) 8月(総合)と2018年3月(通報・避難誘導)に消防訓練を行った。
在館者数の確認と車椅子利用等、自力で歩行困難な入居者の避難誘導に課題があり、消防署員からの指導を受けながら訓練を重ね、マニュアルの作成、徹底を進めていきたい。特に人員が少ない夜間帯においては、地域住民からの協力が不可欠であり、地域との連携も図っていきたい。

(2) 2018年3月に消防訓練に合わせて、消防設備点検を行った。
設備の仕組み及び使い方が徹底できていないため、マニュアル作成を進めたい。

(3) 入居者の家族からの寄附により、2018年1月に玄関前にフードを取り付けることができ、1階共有部の寒さが軽減できた。

5. 今年度の成果・反省

(1) 3月までに(初年度で)、満室となった(2018年4月に残り1室の入居が決まっている)ことは聞こえない高齢者が、生活に不安や不便を感じていることの表れであり、ニーズはまだ点在していると考えられる。

(2) サ高住と併設の小規模多機能型居宅介護、双方のサービス、利用方法等の整理について考えさせられた。入居者及び利用者からの理解を得ながら、来年度に向け、改善を進めたい。

(3) 一年間かけ、入居者が通院している病院や薬局、店舗などにおいて、手話への関心を広めることができた。また、町内会の行事等でほほえみの郷を利用していただいたり、JR手稲駅で行われた障害福祉施設の展示に参加したり、少しずつ普及に取り組んでいる。来年度は、近隣の学校との交流や地域におけるサロンスペースとしての活用など、さらなる啓発、普及に取り組むたい。

IV 小規模多機能型居宅介護事業

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷に併設し、介護の支援が必要な入居者及び近隣地域の住民に対し、サービスを提供する。

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲(事業所番号 0190400697)

指定開始日:2017年4月1日(指定通知書発行日:2017年3月27日)

事業:地域密着型小規模多機能型居宅介護及び

介護予防小規模多機能型居宅介護

場所：手稲区稲穂2条7丁目5-7

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷1階

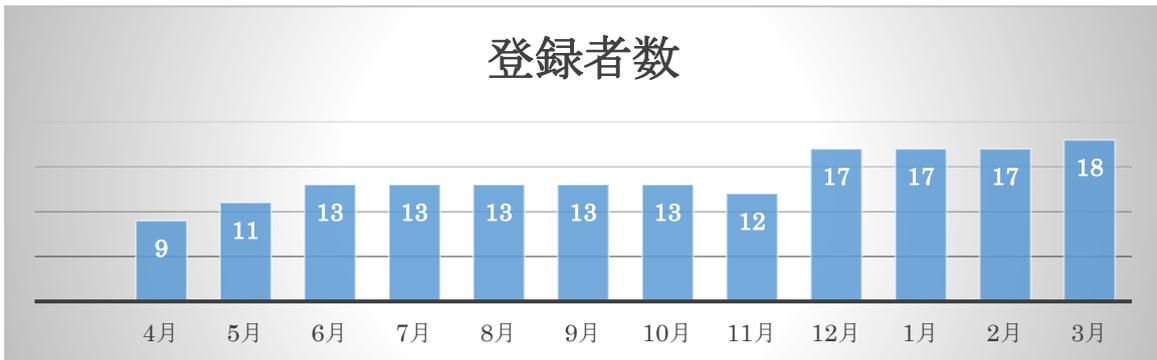
面積：100.40㎡

定員：登録18名、通い12名、泊り4名

1. 登録状況の推移について

(1) 登録状況等／登録定員は18人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	4	4	5	5	5	5	5	4	6	6	6	7
女性	5	7	8	8	8	8	8	8	11	11	11	11
登録者数(人)	9	11	13	13	13	13	13	12	17	17	17	18
登録率(%)	50	61	72	72	72	72	72	67	94	94	94	100
終了者	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
登録者	9	2	2	0	1	0	0	0	5	0	0	1



(2) 登録終了者の状況等

区分	人数	備考
施設入所	1	

(3) 登録者の要介護度等 (2018年3月15日現在)

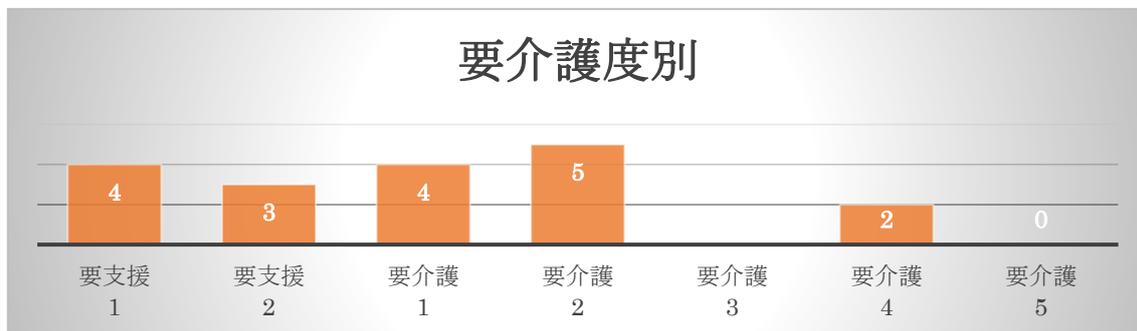
住居区別	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
(人)	0	0	0	1	17	0	0	0	0	0	18

要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
(人)	4	3	4	5	0	2	0	18

(4) 登録者の平均年齢

平均 82.2歳 / 最年少 67歳 最高齢 97歳

2. サービス提供状況について



(1) 各月別延べサービス利用回数及び月一人当たり平均利用回数

	通い	訪問	宿泊	延回数	月平均回数
4月	137	52	0	189	4.90
5月	136	109	3	248	5.03
6月	150	141	6	297	5.22
7月	164	169	4	337	5.78
8月	142	137	5	284	4.85
9月	134	144	10	288	4.99
10月	154	137	4	295	5.05
11月	141	164	8	313	5.93
12月	195	206	5	406	5.33
1月	180	229	4	413	5.43
2月	180	199	4	383	5.57
3月	196	207	5	408	5.06

※月平均回数＝サービス提供延べ回数÷（当月日数×登録者数）×7

※月一人当たり平均利用回数は、週4日以上のみ

3. 運営推進会議の設置運営

月日	実施事業名等	内容概要
5月24日	第1回運営推進会議	事業報告・職員の状況・ボランティアの状況・行事報告・意見交換
7月19日	第2回運営推進会議	事業報告・行事報告・年間行事計画・ボランティアの状況・意見交換
9月20日	第3回運営推進会議	事業報告・行事報告・今後の予定について・意見交換
11月8日	第4回運営推進会議	事業報告・今後の予定について・意見交換
1月10日	第5回運営推進会議	事業報告・行事報告・今後の予定・意見交換

3月14日	第6回運営推進会議	事業報告・行事報告・外部評価・意見交換
-------	-----------	---------------------

※年6回開催、奇数月に開催

4. 職員体制（2018年3月31日現在）計14名

常勤専従 4名	管理者 兼介護職員(1)	計画作成担当者 兼介護職員(1)	看護師(1)	介護職員(1)
常勤兼務 5名 (サ高住と兼務)				介護職員(5)
非常勤専従 1名			看護師(1)	
非常勤兼務 4名				介護職員(4)

5. 今年度の成果・反省

- (1) 登録者数は、開設月（4月）の9人で始まり、3月で利用者定員の18人となり、4月からの登録定員を24人に変更することができた。今後は、ほほえみの郷も満室となり、在宅（地域）の方の受け入れ体制を整えていきます。
- (2) 登録者は、要支援1・2の方の割合が4割と多く、収支はきびしい状況にありますが、2018（平成30）年度介護報酬改定では基本報酬に変更はなく、各種加算の取れる人員配置、体制づくりを行い、安定した運営に努めていきたい。
- (3) 開設初年度は職員の退職も少なく経過することができた。職員が「この職場で長く働きたい」と思える環境、体制づくりを引き続き行ってきたい。
- (4) 限られた職員体制で365日24時間の利用者の暮らしを支えるために事業所として提供できるサービス内容・回数・時間等の判断基準が定まらず、試行錯誤を繰り返した一年間であった。介護サービス・生活支援サービスの環境整備と、事業所および職員間の連帯を図り、引き続き利用者が安心して「その人らしく」暮らし続けていけるよう支援したい。
- (5) 町内会・地域包括支援センター・札幌協手稲区支部・手話サークル等のご協力のもと年間6回の運営推進会議を実施することができました。また、地域や関係団体の行事などへの参加、見学者やボランティア、職場体験実習等を積極的に受け入れることで世代間交流や地域交流となり、利用者も大変喜んでおられた。今後は家族との関係作りと、地域の方々が当施設を身近に感じてもらえるような取り組みを考えていきたい。

V 介護支援センター共通

1. 職員の資格保有状況

	介護支援専門員	介護福祉士	ヘルパー2級等	正看護師	無資格
常勤	2	6	5	1	0
非常勤	0	2	1	1	2
登録	0	1	3	0	0

計	2	9	9	2	2
その他 主な 保有資格	社会福祉士、手話通訳士、精神保健福祉士、全身性障害者移動介護・行動援護・同行援護従業者、サービス管理責任者、認知症対応型サービス事業管理者、小規模多機能型サービス等計画作成担当者、他				

2. 研修受講

職員の資質向上のため、各種研修に参加及び自主開催し、研鑽に努めた。

	月 日	内 容	受講者数
外部 研 修	5月13日	全国ろうあヘルパーフォーラム	4
	6月10日	ビジネスマナー（札幌協職員研修）	2
	7月6日～7日	甲種防火管理新規講習	1
	7月7日～8月21日	認知症介護実践者研修	1
	8月19日	全身性ガイドヘルパー研修	1
	8月21日	救急法セミナー	4
	8月28日	高齢者虐待防止推進研修（基礎編）	1
	9月13日	高齢者虐待防止推進研修（在宅編）	1
	9月13日～14日	小規模多機能型サービス等計画作成担当研修	1
	9月15日	メンタルヘルス研修	1
	9月16日	歩きやすさを求めて（ひとみ会学習会）	7
	10月5日	メンタルヘルス研修	1
	10月11日	認知症介護基礎知識研修	3
	10月17日	職場における腰痛予防対策	1
	10月26日	認知症ケアスキルアップ研修	1
	10月26日	介護職員等に必要法律の基礎知識	1
	10月28日	ソーシャルワークについて（札幌協職員研修）	5
	10月31日	コミュニケーションスキル・接遇向上研修	1
	11月10日	難病患者等ホームヘルパー養成研修	1
	11月13日	食中毒予防講習会	1
	11月15日	メンタルヘルス研修	3
	11月18日	全身性ガイドヘルパー研修	1
	11月28日	認知症介護基礎知識研修	2
	12月6日	認知症介護基礎知識研修	1
	12月8日	クレーム対応研修	2
	2月14日	記録の書き方	1
内部 研 修	5月26日	札幌協として職員に求めること	12
	5月30日	視覚障害者との接し方	8
	6月17日	高齢者の虐待防止について	8
	6月30日	記録の目的と書き方	10
	7月15日	障害者の虐待防止について	7
	7月18日	利用者様の身体状況について	9
	7月18日	認知症の方への接し方	9

11月18日	児童虐待防止について	6
12月22日	身体拘束について	10
3月15日	施設見学（北区）	4
3月20日	施設見学（北区）	4
	施設見学（中央区）	4

3. 行事等企画（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

入居者、利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

※他=家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

月 日	内 容	場 所	参 加	内 訳			
				手稲	郷	職員	他
5月3日	お花見	星観緑地	7	4	0	3	0
5月4日	お花見	星観緑地	6	3	0	3	0
6月9日	マッサージ体験（イムス医院）	ほほえみの郷	26	12	6	5	3
6月25日	石狩手話フェスタ	花川北コミセン	25	7	3	4	11
7月13日	歯科検診（コア歯科クリニック）	ほほえみの郷	10	6	2	2	0
7月16日	ミニ上映会	ほほえみの郷	13	6	6	1	0
7月17日	ほほえみ後援会「ほほえみ祭り」	身障センター	26	10	7	7	2
7月18日	石狩翔陽高校 交流会	ほほえみの郷	25	9	6	4	6
7月25日	手話サークルていね 交流会	ほほえみの郷	24	8	4	2	10
7月25日	町内のこども祭り	ぶれっすいんぐるーむ	10	4	3	3	0
8月8日	流しそうめん&バーベキュー	ほほえみの郷	31	9	8	10	4
8月17日	消防訓練	ほほえみの郷	20	1	10	8	1
8月20日	町内の盆踊り大会	海星公園	12	5	4	3	0
9月8日	ボラ「とも」交流会	ほほえみの郷	20	8	5	2	5
9月29日	敬老会	ほほえみの郷	23	10	7	6	0
10月7日	手稲文化祭	手稲区民センター	12	6	5	1	0
10月13日	ハンドトリートメント	ほほえみの郷	25	10	3	7	5
10月16日	買物外出レク	イオン発寒店	8	4	/	4	0
10月18日	買物外出レク	イオン発寒店	6	3	/	3	0
10月20日	買物外出レク	イオン発寒店	8	4	/	4	0
10月24日	ボラ「とも」交流会	ほほえみの郷	17	7	2	3	5
11月10日	工場見学&日帰り温泉	パナソニック工場&ふとみ銘泉	26	9	7	10	0
11月17日	ミニ講座「正しいうがいと手洗いの方法」	ほほえみの郷	17	7	4	5	1
11月17日	ボラ「とも」交流会	ほほえみの郷	22	9	2	5	6
11月19日	テレビビデオ班	ほほえみの郷	24	9	6	5	4
11月29日	手話サークルやまびこ交流会「リース作り」	ほほえみの郷	11	4	1	3	3
11月30日	ほほえみ健康学習会	ほほえみの郷	35	/	14	4	17
12月6日	町内会合同企画「みんなの災害対策講座」	ほほえみの郷	44	/	14	3	27
12月11日	ボラ「とも」交流会	ほほえみの郷	15	7	3	2	3
12月20日	手話サークルやまびこ クリスマス会	区民センター	3	/	1	/	2

12月21日	手話サークルあゆみの会 クリスマス会	区民センター	2	2	0
12月25日	クリスマス会	ほほえみの郷	32	17	9
12月28日	餅つき (午前)	ほほえみの郷	6	4	2
	餅つき (午後)		9	5	2
1月1日	新年ごあいさつ	ほほえみの郷	21	17	4
1月22日	ボラ「とも」交流会	ほほえみの郷	21	13	3
1月23日	買物外出レク	西友手稲店	4	2	2
1月25日	買物外出レク	西友手稲店	3	3	0
2月2日	節分 (恵方巻きづくり)	ほほえみの郷	27	14	8
2月9日	買物外出レク	西友手稲店	6	3	3
2月9日	ボラ「とも」交流会	ほほえみの郷	14	7	1
2月11日	ミニ上映会	ほほえみの郷	17	11	3
2月17日	DVD等鑑賞会	ほほえみの郷	19	11	3
2月21日	料理レク	ほほえみの郷	11	7	4
2月24日	ほほえみ後援会 講演会&トーク	身障センター	25	14	6
3月2日	手話サークルやまびこ交流「桜餅作り」	ほほえみの郷	13	8	3
3月4日	耳の日市民のつどい&外食会	かでの・北のゲル亭	20	10	6
3月16日	消防訓練	ほほえみの郷	28	16	7
3月21日	手話サークルやまびこ交流会「手芸」	ほほえみの郷	18	6	4

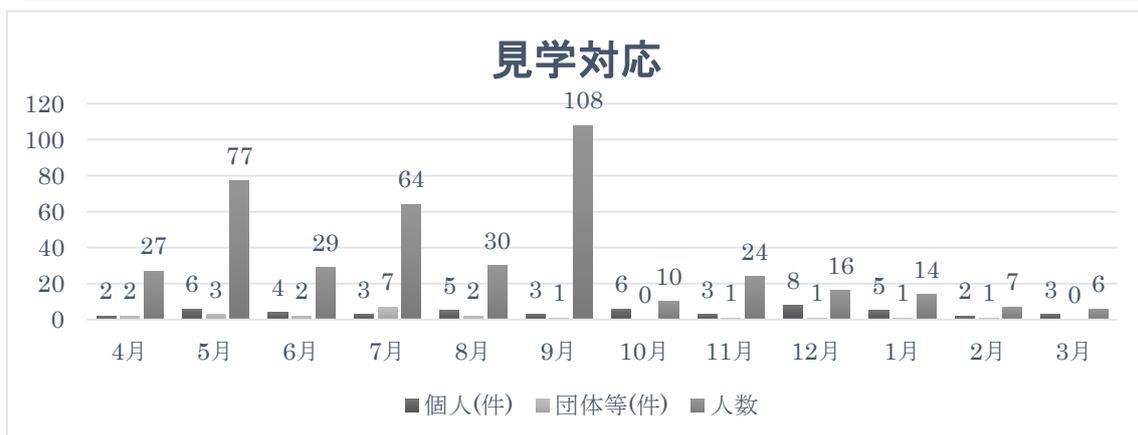
4. 見学対応 (ほほえみの郷・ほほえみ手稲)

開所以来、個人、団体問わず、多くの見学の問い合わせに対応した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人(件)	2	6	4	3	5	3	6	3	8	5	2	3	50
団体等(件)	2	3	2	7	2	1	0	1	1	1	1	0	21
人数	27	77	29	64	30	108	10	24	16	14	7	6	412

主な受け入れ団体等

- ・全国ろうあヘルパー連絡協議会
- ・東京都台東区議会議員
- ・新婦人たんぽぽ班
- ・第58回全道ろうあ者大会 高齢のつどい
- ・北海道石狩翔陽高等学校
- ・伊達聴力障害者協会
- ・岩見沢ろうあ協会
- ・静岡県浜松市議会議員
- ・一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会



5. 取材等対応（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

新聞社等からの取材依頼に対応した。

- ・4月～2018年3月：11社
- ・主な受け入れ：NHK札幌放送局、福祉新聞社、共同通信社、北海道新聞社
北海道医療新聞社(介護新聞)

6. その他

- ①毎月発行するH S K札幌紙へ活動状況を掲載、発信した。（計11回）
- ②各事業所合同の機関紙「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信」を発行し、関係者に配布し情報発信を行なった。（計4回）
- ③職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。（年1回）

VI さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2017年4月～2018年3月（年間3回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	出席	回	月日	出席
1	2017/5/19(金)	9名	3	2018/1/12(金)	8名
2	2017/9/ 8(金)	10名			

時間：19：00～20：45

委員名簿：

札幌手話サークル連絡協議会：前田静子研修交流会担当、今野久美子会計部長

札幌手話通訳問題研究会：中村雅子事務局長、宮本ゆかり会計部長

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：田村玲子事業部長、三澤美紀子会計部長

（公社）札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、森恵子理事

担当職員：中村千恵センター長兼所規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ手稲所長、樋口あやこサ高住ほほえみの郷所長、小山内孝子ヘルパーステーションほほえみ白石主査

内容：センター事業（ヘルパーステーション、サ高住、小規模多機能居宅介護）の 現況報告および意見交換を行った。

【他1】相互扶助事業

I 支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

1. 支部事業

(1) 専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催：月1回のうち5・1月は休み。第1火曜日開催。

会場：市視聴覚障がい者情報センター

①札幌聴覚障害者協会会員数

	2017年4月1日	2018年3月31日	増減	備考
正会員	423名	437名	+14	入会21名・退会5名 ※退会理由：市外転出、自己都合、その他
賛助	60名	71名	+11	

②区別会員数

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲		市外	計
正	23	94	86	43	36	33	11	21	45	45			437
賛助	7	7	11	5	5	4	1	4	16	7		4	71

③年代・性別別会員数（正会員）

(単位：名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	4	11	22	26	36	79	50	15	1	244
女性	0	11	16	25	40	50	39	10	2	193

④H S K札幌聴障購読者数（有料購読者）

	2016年4月1日	2017年3月31日	2018年3月31日	増減
市内	104名	105名	99名	-6
市外	40名	40名	39名	-1
道外	2名	2名	2名	0
合計	146名	147名	140名	-7

⑤日本聴力障害新聞購読者数（札幌市内）

2016年3月31日	2017年3月31日	2018年3月31日	増減	※札幌協事務局での 新規購読 申込受付数：15名
185名	232名	213名	-19	

⑥季刊MIMI購読者数

2016年度	2017年度	増減
22名	31名	+9

【組織部】

①専門部会議について

日本聴力障害新聞購読者拡大目標20部に向けて毎年3月から6月まで取り組んでいる。年間サイクルとして、10月～12月に札幌の拡大強化期

間としての取り組みを定着していけるように試みる。

サービス付き高齢者専用向け住宅「ほほえみの郷」への寄付運動（2016年9月～2019年9月まで三年間）を各区支部と手話サークルが共同で展開していけるように協議を重ね、20～30万円まで実績を積まれた支部も出てきた。

(2) 区支部（中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲）
が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

①各区支部事業報告

区支部	行事事業名					
中央	2017年11月23日 ゆずり葉上映会			12月2日 忘年会		
北	2017年7月9日 ボランティア研修会		9月24日 焼肉交流会		2018年1月7日 新年会	
東	2017年7月2日 パークゴルフ &野外交流会	7月29日 元町 夏祭り	9月24日 3区支部 共同街頭 募金	10月1日 フロアカ ーリング 交流会	11月12日 東区手話 まつり	12月3日 クリスマ ス会
白石	2017年6月25日 春の交流会		7月23日 野外交流会		12月9日 忘年会	
厚別	2017年4月23日 春の親睦会		7月28日～29日 厚別区民祭り		8月27日 ウォーキング	
	2017年10月22日 秋の親睦会		12月9日 忘年会		2018年 2月4日 ボーリング交流会	
豊平	2017年7月2日 見学・交流会			2018年 12月3日 クリスマス会&忘年会		
清田	2017年12月9日 忘年会		2018年3月24日 清田区支部設立20周年記念 式典・記念公演・記念講演・記念祝賀会			
南	2017年 7月9日 バーベキュー 交流会	9月24日 3区支部共 同 街頭募金	12月2日 合同忘年会	12月23日 クリスマス バザー交流 会	2018年1月11日 「ゆずり葉」 上映会	
西	2017年9月24日 3区支部共同 街頭募金	12月16日 クリスマス会	2018年2月11日 ボウリング大会	3月17日～18日 温泉交流会		
手稲	2017年9月17日～18日 手稲神社祭出店		10月15日 日帰りバスツアー		12月10日 ボウリング大会& 忘年会	

2. 青年部、女性部、高齢部等の各々が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

(1) 青年部事業

①青年部事業報告

2017年7月29日	ダベリ場① (N-Acition準備委員会と共催)	30名
10月9日	ダベリ場②「ソフトバレーボール大会」	25名
12月23日	全青研報告会&クリスマス会	33名
2018年2月4日・5日	冬の一泊交流会inニセコ	8名
3月18日	三部交流会「脳トレと昔懐かし遊び」	25名
3月21日	定期総会	15名

②青年部会議：月1回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

毎月、会議前にそれぞれ役員が講師になり、約10分のミニ講座をつけることで、活動の意識をつけることができた機会になれたと思います。

「ミニノート」や「メモ帳」のグッズなど、各団体の温かいご支援・ご協力のおかげで販売することができました。

来年度も引き続き、活動を頑張っていきます。

(2) 女性部事業

①女性部事業報告

2017年8月24日	第30回がん検診(がん検診センター)	16名
11月3日	茶話会 (全国ろうあ女性集会報告)	22名
2018年2月11日	定期総会	
3月18日	三部交流会	25名

②女性部会議：月1回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

2017年度は新役員も加わり、新たな気持ちでスタートして、一つ一つ事業を進めてきた1年間でした。

文化祭がお休みでしたので、会議も必要に応じて開きました。

情報提供がまだまだ十分ではないので、引き続き工夫していきたいと思ます。

(3) 高齢部事業

①高齢部事業報告

日程	事業名	場所	参加人数
6月24日	第15回パークゴルフ交流会	丘珠空港PG場	17名
7月19日	社会見学	余市宇宙記念館	24名
2018年2月21日	第10回高齢部代議員総会	道民活動センター	代議員8名
3月18日	三部交流会	道民活動センター	25名

3月21日	高齢部総会	市視聴覚障がい者 情報センター	
-------	-------	--------------------	--

②高齢部役員会 会場：市視聴覚障がい者情報センター

第1回	4月26日	第2回	6月21日	第3回	9月20日
第4回	11月15日	第5回	2018年1月17日	第6回	2月14日
第7回	3月7日				

③規約改正を提案しています。

ポイントは次の通りです。

- (ア) 65歳以上とする。
- (イ) 役員数を定めます。
- (ウ) 総会は、支部から選出された代議員をもって構成します。
- (エ) 支部から選出される代議員は、支部会員数×5分の1とします。
- (オ) 女性会員は、女性部か高齢部かのいずれかを選択する。

3. 会員慶弔福利制度事業

会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

<2017年度手続き件数>

(単位：件)

①結婚祝金	2	⑤銀婚祝金	0
②入学祝金	1	⑥入院見舞金	4
③長寿祝金	5	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	0	⑧死亡弔慰金	1
		合計	13

4. 新年交礼会事業

新年も引き続き協力しながら聴覚障害者の福祉向上の実現に向け、心新たに活動を続けようと親睦と交流をかねて開催した。

「2018年新年交礼会」開催

期日：2018年1月6日（土）18：30～20：00

会場：市視聴覚障がい者情報センター

会費：1,500円

参加人数：137名

II 聴覚障がい者が参加する各種クラブ活動への助成等

1. 活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
<文化系> 3クラブ			
デフフォトクラブ	写真	畠山 均	20名
札幌ろうあ劇団舞夢	手話劇	高橋 淨	7名
札幌デフ麻雀倶楽部	麻雀	今野 整	36名

＜スポーツ系＞ 9クラブ			
S.D.F.C(札幌デフフットボールクラブ)	フットボール	中 和彦	7名
S.R.B.C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	進藤 秀明	22名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	佐藤 裕介	20名
札幌ろうパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地 恒雄	30名
札幌男子バレーボールクラブ	バレーボール	山形 竜之介	9名
札幌デフソフトバレーボール	ソフトバレーボール	伊藤 寿美代	6名
札幌ろうフロアカーリングクラブ	フロアカーリング	富沢 房雄	25名
札幌ろうあゲートボールクラブ	ゲートボール	矢部 米子	7名
札幌デフカーリングクラブ	カーリング	一色 秀和	8名
＜性別・年齢別系＞ 1クラブ			
札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	守屋 弘之	79名
＜福祉系＞ 1クラブ			
とも	高齢ろうあ者・重複障害者支援	伊勢谷小枝子	48名

2. 札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第6回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

（年間3クラブ）

2017年度助成金交付クラブ：ボウリング、フロアカーリング、カーリング

3. スポーツ大会開催事業・選手派遣等

（1）全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業

「第50回全道ろうあ者夏季体育大会」

テーマ：「緑あふれる エルフィンの大地で 競い合おう！」

期日：2017年6月30日（金）～7月2日（日）

場所：北広島市

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管：北広島聴力障害者協会

＜種目別参加人数(札幌)＞※重複参加有 (単位：名)

種目	参加人数	種目	参加人数
ボウリング	18	フットサル	4
バドミントン	12	ソフトバレーボール	16
パークゴルフ	27	フロアカーリング	12
		合計	89

(2) 全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業

「第51回全国ろうあ者体育大会」

期日：2017年9月21日（木）～24日（日） 場所：静岡県

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟

主管：公益社団法人静岡県聴覚障害者協会

第51回全国ろうあ者体育大会実行委員会

<種目別参加人数(札幌)>

(単位：名)

種目	参加人数	種目	参加人数
ボウリング	8	バスケットボール	1
バドミントン	9	野球	1
女子バレーボール	5		

4. 全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会への選手派遣補助金事業

「第17回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会」

期日：2017年6月25日（日）

場所：秋田県秋田市

主催：文部科学省

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会

主管：一般社団法人秋田県聴力障害者協会

参加チーム：札幌男子バレーボールクラブ（7名）

5. クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2017年4月～2018年3月（年3回会議開催）

会場：市体障害者福祉センター

対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

(1) クラブ代表者会議

回	月日	時間	主な内容	参加クラブ数
1	2017年4月8日	18：30～20：30	総会	8クラブ
2	2017年6月9日	19：00～20：30	クラブ助成金交付、 クラブの報告、 課題による意見交換	9クラブ
3	2017年12月7日	19：00～20：00	クラブ助成金、 クラブの報告他	10クラブ

(2) 運営会議

回	月日	時間	主な内容	参加人数
1	2017年4月25日	19：00～20：30	昨年度の課題確認	5名
2	2018年3月22日	19：00～20：30	課題による意見交換	5名

(3) クラブ代表者会議加入クラブ (2018年3月31日現在)

- ①文化系3クラブ ②スポーツ系9クラブ

【クラブ支援部】

クラブ加入数状況、課題などの意見交換をしたり、各クラブからの報告について情報交換を行ないました。

クラブ支援部のHPを開設しました。内容はクラブ紹介、近日情報、活動報告を載せています。

各クラブ会員から積極的に他の団体及び聞こえる仲間のクラブとの交流を深めています。

Ⅲ 中国瀋陽市聾人協会との友好交流行事の実施

5年に一度の開催のため、実施せず。次回は札幌市において、2020年に開催予定。

【他2】各種大会への協力及び支援事業

I 第58回全道ろうあ者大会

1. 第58回全道ろうあ者大会の開催

テーマ「伝えよう 広げよう 手話はいのち」

期日：2017年9月1日（金）～3日（日）

場所：北海道立道民活動センター「かでの2・7」

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管：公益社団法人札幌聴覚障害者協会

(1) 日程・内容

9月1日（金）北海道ろうあ連盟理事会
準備・合同会議

9月2日（土）

大会式典

記念講演 「自分を探す旅の途中で～私の人生～」

講師 大杉豊氏（筑波技術大学教授）

アトラクション

北海あほんだら会&ほくほくフィナンシャルグループ

大会式典・記念講演・アトラクションは、1階かでのホールと4階大会議室の2会場を用意し、ホールで大会式典や記念講演をしている様子の中継して4階大会議室にスクリーンで上映しました。

記念交流パーティ 場所：札幌パークホテル

181名が集い、懐かしいムービーを流したり、フラダンスなど踊りを披露したり、ゲームをしました。

9月3日（日）

聴覚障害セミナー「福祉」

「権利条約から手話言語法と情報コミュニケーション法の違い」

講師 大杉豊氏（筑波技術大学教授）

聴覚障害セミナー「手話」

「全国手話研修センターの役割」

講師 黒崎信幸氏（社会福祉法人全国手話研修センター理事長）

青年のつどい

「ろうあ運動の団結力と日本国憲法～一人はみんなのために、みんなは一人のために～」

講師 内川大輔氏（一般財団法人全日本ろうあ連盟監事）

女性のつどい

「大切な人を送りたい、その“キモチ”を“カタチ”にする」

講師 木村光希氏（納棺師）

高齢者のつどい

講義「札幌に聞こえない人向けのサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）が完成全国初の取り組み！」

講師 高嶋正博氏（公益社団法人札幌聴覚障害者協会事務局長）

見学会 札幌市内（ほほえみの郷・白い恋人パーク）

合同シンポジウム

「社会を変える社会が変わる」

～歴史の語り部が語る～映画と未来への階段～

コーディネーター 渋谷雄幸氏

パネラー 宮内昭治氏・鈴木勲氏・中和彦氏・福島太郎氏

フィナーレ・引き継ぎ式

(2) 参加者 843名

2. 実行委員会

期間：2016年4月～2017年8月

会場：市視聴覚障がい者情報センター

時間：19：00～20：45

実行委員：委員長 渋谷雄幸、副委員長 宮内博子

委員 札幌協理事・各支部(1名) 36名

札サ研 2名、札通研 2名

開催日

回	月日	回	月日
1	2016年4月23日	8	5月13日
2	6月18日	9	6月24日
3	8月27日	10	7月22日
4	10月22日	11	8月6日
5	12月17日	12	8月20日
6	2017年2月24日	13	8月26日
7	4月15日	14	12月16日

【法人関係事業】

法人関係事業

- I さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）
 キリンビール（株）のご協力のもと、夏祭り福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及した。

期間：2017年7月20日（木）～8月15日（火）

会場：大通公園西7丁目（キリンビール）

販売枚数：6,200枚（前年度比93%）

- II 札幌聴覚障害者協会創立70周年記念事業

- （1）札幌聴覚障害者協会創立70周年記式典・祝賀会の開催

70年目の節目を迎えるにあたり、これまでの活動を省みて、共に総括し、確認しあいさらに飛躍した75年目、80年目へのスタートの決意を新たにするために開催するものである。

期日：2017年6月18日（日）

会場：札幌グランドホテル

参加者：式典 334名 祝賀会 190名

内容：①式典・永年会員の表彰

②記念講演

「70年の歴史」

講師 一般財団法人全日本ろうあ連盟理事長 石野 富志三郎氏

講師 一般財団法人全日本ろうあ連盟事務局長 久松 三二氏

お二人の講師をお迎えして、70年の歴史について講演していただく。石野氏からは全日本ろうあ連盟も創立してから今年で70周年を迎えたことの報告と、久松氏は石野氏との出会いから現在に至るまでの楽しい話をされ、盛り上がりました。その後、渋谷理事長のコーディネートでパネルディスカッションが行われました。

③記念祝賀会

福岡理事の司会で進行し、来賓あいさつの後DVD「70年の歩み」の上映がありました。懐かしく見ている方々の中には笑い声や、手をたたきながら見ている方もいました。その後「よさこい」「ビンゴゲーム」「じゃんけん大会」あり、参加者からは大変良かったですとの声もありました。

- （2）札幌聴覚障害者協会創立70周年記念事業企画会議、反省会

期間：2016年5月～2017年6月

会場：市視聴覚障がい者情報センター

実行委員：札幌協理事、監事 札幌協事務局職員

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2016年5月21日	20名	7	2月28日	17名
2	5月31日	15名	8	3月29日	19名

3	6月30日	14名	9	4月22日	19名
4	9月29日	11名	10	5月26日	19名
5	11月22日	15名	11	6月16日	28名
6	2017年1月23日	15名	12	6月30日	19名

1年前から、記念講演・祝賀会・記念誌の担当に分かれて準備を始めていった。

Ⅲ 総会・理事会・委員会・会議等の開催

1. 社員総会開催

「第7回定時社員総会」

期日：2017年5月28日（日）9：45～14：10

会場：市視聴覚障がい者情報センター 大会議室

主な議題：2016年度事業報告及び決算報告、2017年度事業計画及び予算、

規則・規程一部改正、公益社団法人札幌聴覚障害者協会役員選任

代議員数：89名（開会時）出席：81名（内、委任10名含み）

（採決時）出席：79名（内、委任9名含み）

※第1号議案説明中に委任状提出代議員1名が出席し、採決前に2名が退席した。

2. 理事会開催

1) 定時理事会

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2017年4月22日	19：00～20：50	14名	2名
	4月23日	9：40～16：00	16名	2名
2	5月27日	19：00～20：45	16名	2名
3	6月25日	9：30～16：30	14名	2名
4	8月27日	9：30～16：20	15名	2名
5	10月22日	9：30～16：35	15名	2名
6	12月17日	9：35～16：15	15名	2名
7	2018年2月24日	18：30～20：30	14名	1名
	2月25日	9：35～16：15	15名	1名

※会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

*理事会出欠表は別表P87に記載

3. 三役会議

期間：2017年4月～2018年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2017年4月12日(水)	4名	7	10月11日(水)	4名
2	5月10日(水)	4名	8	11月8日(水)	4名
3	6月21日(水)	4名	9	12月13日(水)	4名

4	7月12日(水)	4名	10	2018年1月10日(水)	4名
5	8月9日(水)	4名	11	2月7日(水)	4名
6	9月13日(水)	4名	12	3月14日(水)	4名

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

4. 経営会議

期間：2017年4月～2018年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2017年5月24日(水)	6名	5	11月29日(水)	7名
2	7月26日(水)	7名	6	2018年1月24日(水)	6名
3	8月23日(水)	5名	7	2月28日(水)	6名
4	9月27日(水)	7名	8	3月28日(水)	6名
5	10月25日(水)	5名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事、秋井利江聴覚障害者支援センター長、渋谷悌子コミュニケーション支援課課長、中村千恵さっぽろ聴覚障害者介護支援センター長

内容：派遣事業、福祉サービス事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

5. 三団体懇談会

構成：札幌協・札幌連・札幌研

期間：2017年4月～2018年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2017年4月18日	8名	6	10月17日	10名
2	5月16日	9名	7	12月19日	8名
3	6月20日	7名	8	2018年1月16日	8名
4	7月18日	8名	9	2月20日	7名
5	9月19日	8名	10	3月20日	8名

札幌協：金原浩之副理事長・高嶋正博常務理事・福島太郎理事・若浜ひろ子理事・京野大樹理事

札幌連：菅原順子会長・三木副会長・坂本広報部長

札幌研：山田幸雄運営委員長・太田利実副運営委員長・渋谷悌子事務局次長・宮本ゆかり会計部長・佐藤薫北ろう連担当・三田村好子事業部長

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、札幌市手話・障がい社コ

コミュニケーション検討委員会のこと、札幌市手話講習会体制のこと、研修センター後援会協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札幌聴紙の購読者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を行い、お互いに協力を深めている。

6. 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

① 2017（平成29）年度定時総会

日時：5月17日(水)15：00～16：00

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸（(一社)札幌市障がい者スポーツ協会理事）
正会員団体代表の代理 常務理事 高嶋正博

② 2017（平成29）年度理事会（3回）

日時：①第1回4月27日（木）15：00～

②第2回5月22日（水）15：45～

③第3回2018年3月22日(木)15：00～15：30

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸（(一社)札幌市障がい者スポーツ協会理事）

7. 札幌市障がい者によるまちづくりサポーター制度会議

日時：①2017年8月4日(金)16：00～

②2017年10月26日(木)18：00～

③2018年1月26日(金)16：00～

④2018年3月29日(金)18：00～

場所：札幌市役所

委員：構成人数 10名

（公社）札幌聴覚障害者協会 河村明子理事

D P I 北海道ブロック会議 1名

札幌市視覚障害者福祉協会 1名

サッポロペンギンクラブ（障がい者スポーツクラブ） 1名

北海道難病連 1名

札幌みんなの会 2名

N P O 法人北海道学習障害児・者親の会クローバー 1名

特定非営利活動法人札幌市精神障害者家族連合会 1名

障がい者あんしん相談 相談員 1名

昨年度に続き、「公共交通機関・移動」に関して、団体からの要望と交通局と住まい編からの回答を載せるための配布するパンフレット内容を修正、確認しながら意見交換を行いました。

8. 2017（平成29）年度札幌市障害者週間記念事業実行委員会

（1）実行委員会

日時：①2017年10月13日（金）13：30～14：30

②2017年11月21日（火）13：30～14：30

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長 渋谷雄幸

(2) 区長表敬訪問

日時・場所：①2017年12月5日（火）西区、東区

②2017年12月7日（木）手稲、北

出席者：理事長 渋谷雄幸

7. 札幌市手話・障がい者コミュニケーション促進条例検討委員会

(1) 延べ9回開催され、コミュニケーション手段に関する条例と手話言語に関する条例案を検討し、解散しました。

(2) 今後は、条例に定められた懇話会を年に1回程度設けて条例の進捗状況などについて意見交換が行われる予定です。

経過の詳細は札幌市のホームページに掲載されています

<http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/communication/index.html>

会場：市視聴覚障がい者情報センター

会議開日程：

回	月日	出席人数
7	2017年7月10日	11名
8	2017年11月15日	9名
9	2018年3月23日	10名

委員：（公社）札幌聴覚障害者協会理事長 渋谷雄幸

（公社）札幌市身体障害者福祉協会 会長 浅香博文（副委員長）

北海道自閉症協会 会長 上田マリ子

（一社）札幌市中途失調・難聴者協会 会長 扇谷明美

札幌手話通訳問題研究会 副運営委員長 太田利実

（公社）札幌市視覚障害者福祉協会 会長 近藤久江

（NPO）札幌市精神障害者家族連合会 会長 菅原悦子

札幌盲ろう者福祉協会 会長 富樫眞弓

北海道学園大学 法学部 講師 中條美和

（一社）札幌市手をつなぐ育成会 会長 奈須野益（ゆたか）

2017年1月12日逝去➡第6回から藤井美雪氏に交代

日本ASL協会北海道支部 支部長 深瀬和文

札幌学院大学 人文学部 准教授 松川敏道（委員長）

点訳奉仕むつの会 代表 山本 清子 （50音順）

主な論点

(1) 1回目から7回目まで、協会と札幌通研は手話と情報・コミュニケーションの二本立て条例を求めてきました。

(2) 7回までの手話言語に関する意見は、「情報・コミュニケーション条例」に含めず、手話条例制定の場に回してほしい。と意見を述べて終わりました。

(3) 結果、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例・（略称）障がい者コミュニケーション条例」は、2017年10月4日に可決、成立、公布され、12月1日から施行されています。

- (4) 8回目の検討委員会では、これまでの手話言語に関する意見を基に手話言語条例の検討が行われ、その結果、2018年3月6日に可決、成立、公布、同日施行されました。
- (5) 札幌市は意思疎通に関する条例と言語に関する条例の二本立て条例を制定しました。北海道、小樽市も3月20日に二つの条例が制定されています。
- (6) 障害者権利条約では、意思疎通手段と言語を分けて定義しており、条約の精神に沿った形で条例ができたことを喜びたいと思います。
今後は、手話の普及、手話への意味理解、手話の使用環境を増やしていくことが課題になります。

8. その他

(1) 札幌市議会本会議及び委員会等の傍聴

①厚生委員会 傍聴

内容：「障害者情報・コミュニケーション関係の条例の素案」に関する審議

日時：6月9日（金）13：00から

場所：市役所16階 第1特別委員会会議室 傍聴席

②本会議 平成29年第3回定例会 傍聴

内容：「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」審議採択

日時：10月4日（水）13：00～13：45

場所：市役所18階 議場傍聴席 20人

その後、集合写真の撮影

③厚生委員会 傍聴

内容：「（仮称）札幌市手話言語条例（素案）について」の審議

日時：12月7日15：00～16：00

場所：市役所 16階 第一特別委員会会議室 傍聴席

④本会議平成30年第1回定例会

内容：「札幌市手話言語条例について」審議及び採択で成立し、その日が公布、施行する

日時：3月6日（火）午後1時から午後2時ごろ

場所：市役所18階 議場傍聴席 約100名

その後、議場内、市長・議長と一緒に集合写真の撮影

(2) 北海道札幌聾学校 学校評議員会

趣旨：校長の求めに応じて、学校の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方その他、校長が行う学校運営に関し、一人一人がそれぞれ責任において、校長に対し意見を述べる。

日時：①9月12日(水)・②2018年2月5日(月) 9:30～11:00

場所：北海道札幌聾学校

出席者：公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長 渋谷雄幸

北区北地区民生委員・児童委員協議会(総務部長) 渥美健治

北海道教育大学岩見沢校教授 阿部宏行

札幌聾学校同窓会会長 杉本五郎
北海道札幌聾学校PTA会長 並木英子
学校職員:校長 鈴木正昭、教頭 四木定弘・柴田和千代、
事務局長 納藤博章

- (3) 「さっぽろ障害者プラン」主要障がい者団体との意見交換会
日時：9月12日18:00～20:00
場所：札幌市役所12階1～3号室
内容：さっぽろ障害者プランの計画改定にあたり、意見交換会
出席者：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、
京野大樹理事、越智誠監事
- (4) 「さっぽろ障がい者プラン」の説明会と懇談会
日時：11月21日（火）19:00～
会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター2階 大会議室 約40名
出席者：札幌協の理事・支部役員・会員、札サ連の役員・会員、
札幌通研の役員・会員
- (5) (仮称)札幌市内の災害時の避難生活を考える実行委員会準備会
日時：①第4回（5月23日(火)）18:30～20:30
②第5回（9月26日(火)）18:30～20:30
内容：①・災害に備えた地域の支えあい（札幌市保健福祉局総務課）
講師：札幌市保健福祉局総務課地域福祉推進係長 筒井大介氏
・福祉避難場所について
講師：札幌市保健福祉局総務課 佐々木亮太氏
②講義：北海道における障害福祉災害時の避難生活を考える取
り組み」について
講師：北海道保健福祉部総務課政策調整グループ 主査(危
機管理) 柿本英敏氏
会場：札幌市身障センター 3階 大会議室
出席者：高嶋正博常務理事
- (6) 「第13回輝け！ろうあヘルパーの明日をつなげよう！フォーラム」(協力)
主催：全国ろうあヘルパー連絡協議会
期間：5月12日（金）～14日（日）
会場：市視聴覚障がい者情報センター
内容：①施設見学（ほほえみ作業所・ほほえみカフェ・菓子工房ほほ
えみ・地活ほほえみ西・グループホームよつば、サ高住ほほえ
みの郷・小多機居宅介護センターほほえみ手稲）
②総会
③研修：講演「札幌市市手の取り組み～事業展開と課題」
講師：渋谷雄幸理事長
基調講演：「ろうあヘルパーの過去・現在・未来」
講師：清田廣氏（顧問）
講演をもとに全体討議・分散会・交流会
参加数：60名

(7) ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業第18期研修の実施（協力）

期間：2017年3月27日（月）～4月20日（木）

研修内容：全般事業（各事業所）の研修、青年部との研修交流

研修場所：法人事務局、聴覚障害者情報提供施設、手話通訳派遣室、
ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ、ほほえみ作業所、地域
活動支援センター西・厚別、ほほえみの郷、小規模多機能型
居宅介護支援ほほえみ手稲、(公社)北海道ろうあ連盟

研修生：クリストファー・アモモンポン（フィリピン）

Ⅲ 人事（採用・異動・退職）報告

【2017年4月1日～2018年3月31日】

① 法人事務局
<p>は せ かずあき 長谷和明(2017年4月1日付身分変更 臨時職員→常勤嘱託職員)</p> <p>みやもと まち こ 宮本眞知子(2017年4月1日付身分変更 臨時職員→常勤嘱託職員)</p>
①コミュニケーション支援課
<p>すみまさゆき 角将行(2018年1月31日付退職)</p> <p>さいとういつこ 齊藤逸子(2017年6月1日付採用 非常勤嘱託職員(事務員))</p> <p>もりかわりょう 森川僚(2017年11月20日付採用 正職員(専従手話通訳者))</p> <p>さかもとひかり 坂本光(2018年3月31日付退職)</p>
②聴覚障害者支援センターほほえみ
<p>ささもりせいじ 笹森誠二(2017年4月1日付身分変更 正職員→定年再任用常勤嘱託職員)</p> <p>さいとうかなめ 斉藤要(2017年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員)</p> <p>斉藤要(2018年2月28日付退職)</p> <p>とがしあきこ 富樫明子(2017年6月1日付採用 常勤嘱託職員(B型事業所職業指導員))</p> <p>あきやま あ や こ 秋山亜矢子(2017年4月30日付退職)</p> <p>おさないやすこ 小山内靖子(2017年7月4日付採用 非常勤嘱託職員(B型事業所職業指導員))</p>
③さっぽろ聴覚障害者介護支援センター
<p>しぶやゆうこう 渋谷雄幸(2017年4月1日付 常勤役員(ほほえみの郷 施設長))</p> <p>ほんましんいち 本間慎一(2017年4月1日付採用 正職員(介護支援専門員))</p> <p>すがいしゆん 菅井駿(2017年4月1日付採用 正職員(介護職員))</p> <p>まつもと り か 松本利香(2017年4月1日付採用 非常勤嘱託職員(介護職員))</p> <p>松本利香(2018年1月1日付 身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員)</p> <p>やまむらあいこ 山村愛子(2017年4月1日付採用 非常勤嘱託職員(介護職員))</p> <p>すがわらふじえ 菅原藤枝(2017年4月1日付採用 非常勤嘱託職員(看護師職員))</p> <p>ささきまき 佐々木真樹(2018年1月1日付 身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員)</p> <p>ながいく み こ 長井久美子(2017年10月12日付採用 正職員(小規模多機能型居宅介護 介護職員))</p> <p>すがわらふみこ 菅原史子(2017年10月2日付採用 非常勤嘱託職員(小規模多機能型居宅介護 介護職員))</p> <p>すがわらふみこ 菅原史子(2017年12月30日付退職)</p> <p>さくだかずこ 作田和子(2018年2月11日付採用 非常勤嘱託職員(サ高住の職員))</p>

※職員体制について

(84名(常勤役員・アルバイト・非常勤契約含む) 2018年4月1日現在)

- ① 法人事務局(手話普及事業・情報支援事業) (13名)
事務局長1名、法人事務局次長1名、職員10名 計12名(定年再任用正職員1名、正職員2名、常勤嘱託7名、非常勤嘱託2名)
聴能言語訓練指導員(非常勤契約) 1名
- ② コミュニケーション支援課(手話通訳派遣事業係(医療手話通訳者派遣事業含む)、養成事業係) (23名)
課長1名、係長2名、職員20名 計23名(正5名、常勤嘱託3名、非常勤嘱託6名、アルバイト9名)
- ③ 聴覚障害者支援センターほほえみ (26名)
 - ㊦聴覚障害者地域活動支援センター(ほほえみ厚別・西)
所長1名、職員6名 計7名(定年再任用常勤2名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託2名、アルバイト1名)
 - ㊧ほほえみ作業所(就労継続支援B型事業(ほほえみ作業所)、グループホームよつば)
所長1名、職員5名 計6名(正職員1名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託3名)
 - ㊨ほほえみカフェ(就労継続支援B型事業(ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ、ほほえみ食堂))
センター長・店長(兼務) 1名、職員8名 計13名(正職員1名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託7名、アルバイト4名)
- ④ さっぽろ聴覚障害者介護支援センター (22名)
 - ㊩ヘルパーステーションほほえみ白石
職員6名 計6名(正職員1名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託1名、登録ヘルパー3名)
 - ㊪小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲
所長1名、職員10名 計11名(正職員6名、常勤嘱託3名、非常勤嘱託2名)
 - ㊫サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷
センター長・所長(兼務) 1名、職員3名 計4名(正職員1名、非常勤嘱託1名、アルバイト2名)
 - ㊬ほほえみの郷
施設長1名 計1名(常勤役員1名)

別表【理事会出欠表】

役職	氏名	1		2	3	4	5	6	7	
		4/ 22	4/ 23	5/ 27	6/ 25	8/ 27	10/ 22	12/ 17	2/ 24	2/ 25
理事長	渋谷 雄幸	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	金原 浩之	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	宮内 博子	出	出	出	出	出	出	出	出	出
常務理事	高嶋 正博	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	福島 太郎	出	出	出	欠	出	出	出	出	出
理事	若浜ひろ子	出	出	出	※出	出	出	出	欠	※出
理事	中 和彦	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	河村 明子	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	京野 大樹	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	森 恵子	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	福岡 静枝	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 英治	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 正昭	欠	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	野口 和伸	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	美馬 伸隆	欠	※出	出	欠	欠	欠	欠	出	出
理事	笹森 誠二	出	出	出	-	-	-	-	-	-
理事	眞鍋 秀之	-	-	-	※出	欠	出	出	欠	出
監事	越智 誠	-	-	-	出	出	出	出	欠	欠
監事	福島 紫	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	佐藤いさ子	出	出	出	-	-	-	-	-	-

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退